

## 減災対策協議会の取組み状況について

### 【ソフト対策の取組（目標達成に向けた3本柱）】

- ① 災害リスク情報の整備及び伝達の取組
- ② 効果的な水防活動、円滑な住民避難の取組
- ③ 住民の防災意識向上の取組

京都府防災情報等共有会議（兼 由良川圏域・二級圏域減災対策協議会幹事会）

日 時：令和5年4月18日(火)

場 所：WEB会議

参加機関：福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、南丹市、京丹波町、伊根町、与謝野町、  
京都府気象台、京都府砂防課、南丹土木事務所、中丹東土木事務所、中丹西土木事務所、  
丹後土木事務所、大野ダム総合管理事務所、京都府広域振興局、京都府危機管理部

#### 主な議事内容

- 議事(1)ローカルエリアリスク情報の発信の取組について  
 議事(2)令和5年度の防災気象情報の改善について  
 議事(3)防災パトロール（危険予想箇所点検）の実施について  
 水害等避難行動タイムラインの作成について  
 議事(4)各種防災情報の強化・充実について

#### 各種防災情報の活用について

府庁では、「国公立機関の防災情報」、民間の「河川防災情報」など、連携関係に基づき災害の危険度監視システムにおいて、気象庁「洪水予報」「洪水警報」「土砂災害警戒情報」が、防災情報共有システム「洪水予報」海の中継情報も活用されています。  
 防災情報が多様な種類化する中で、それらを活用し、避難、応急対応について、各機関が連携して提供します。  
 【令和5年編】各府庁  
 【編 集 期】1,2月編

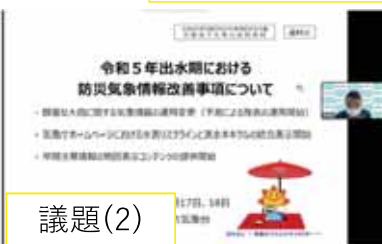
#### 意見交換状況



会議状況



議題(1)



議題(2)

#### ◇取組内容

- (1)ローカルエリアリスク情報(地域の危険情報)の発信の取組について
  - ・福知山市では「内水氾濫」に対しては浸水センサーの設置、「土砂災害の危険度」に対しては地域独自の基準値を設けるなど、地域のリスク情報をアプリを通じて住民に通知することにより避難行動を支援する市独自の取り組みについて共有した。
- (2)令和5年度の防災気象情報の改善について
  - ・顕著な大雨に関する気象情報や水害リスクラインと洪水キキクルの統合など、気象情報の改善内容について情報共有した。
- (3)危機管理部からの情報提供
  - ・防災パトロール（危険予想箇所点検）の実施、防災パトロール（危険予想箇所点検）の実施について情報共有した。
- (4)各種防災情報の強化・充実について
  - ・水位・氾濫予測システムの構築、河川防災情報システムの再構築、土砂災害警戒情報システムの改良について、取り組み状況を共有した。
- (5)意見交換（各種防災情報の活用について等）

# ローカルエリアリスク情報（地域の危険情報） の発信の取組

福知山市

○福知山市では昔から幾多の洪水被害を受けてきた。

主要洪水記録一覧

西暦	起年月日	要因	福知山最高水位 (m)	主な被害状況
1907	明治40.8.26	前線	8.48 (推定)	死者7名、家屋流出460戸、全壊184戸、半壊124戸 床上浸水420戸、床下浸水403戸
1933	昭和28.9.25	台風第13号	7.80	災害救助法適用、死者12名、負傷者820名、家屋流出84戸 全壊986戸、半壊1,384戸、床上浸水4,075戸、床下浸水284戸
1959	昭和34.9.26	伊勢湾台風 (第15号)	7.10	災害救助法適用、死者1名、負傷者28名、家屋流出7戸 全壊10戸、半壊144戸、床上浸水3,958戸、床下浸水1,780戸
1961	昭和36.9.16	第2室戸台風	5.30	災害救助法適用、死者3名、負傷者6名 全壊11戸、半壊200戸、床上浸水1,179戸、床下浸水10戸
1961	昭和36.10.28	台風第26号	5.25	災害救助法適用、全・半壊8戸、床上浸水767戸、床下浸水1,708戸
1962	昭和37.6.10	梅雨前線	5.15	床上浸水188戸、床下浸水302戸
1965	昭和40.9.14	秋雨前線	5.42	災害救助法適用、床上浸水490戸、床下浸水1,314戸
1965	昭和40.9.18	台風第24号	5.22	全壊3戸、半壊1戸、床上浸水411戸、床下浸水1,534戸
1972	昭和47.9.17	台風第20号	6.15	災害救助法適用、負傷者5名 全壊4戸、半壊33戸、床上浸水527戸、床下浸水1,024戸
1982	昭和57.8.2	台風第10号	5.45	床上浸水29戸、床下浸水21戸
1983	昭和58.9.28	台風第10号	5.57	死者1名、全壊5戸、半壊3戸、一部損壊8戸 床上浸水14戸、床下浸水178戸
2004	平成16.10.20	台風第23号	7.55	災害救助法適用、死者2名、負傷者2名 半壊59戸、一部損壊115戸、床上浸水755戸、床下浸水731戸
2006	平成18.7.19	梅雨前線	5.00	負傷者1名、一部損壊79戸
2011	平成23.5.29	台風第2号	5.14	床上浸水1戸、床下浸水8戸
2011	平成23.9.20	台風第15号	5.73	床上浸水4戸、床下浸水11戸
2013	平成25.9.16	台風第18号	8.30	災害救助法適用、全壊2戸、大規模半壊19戸、半壊311戸 一部損壊・床上浸水423戸、床下浸水356戸
2014	平成26.8.15	秋雨前線	6.48	災害救助法適用、全壊13戸、大規模半壊6戸、半壊266戸 一部損壊3,968戸、床上浸水2,029戸、床下浸水2,471戸
2017	平成29.10.23	台風第21号	7.39	半壊12戸、一部損壊11戸、床上浸水98戸、床下浸水227戸
2018	平成30.7.7	梅雨前線	6.52	災害救助法適用、全壊14戸、半壊40戸 床上浸水414戸、床下浸水747戸

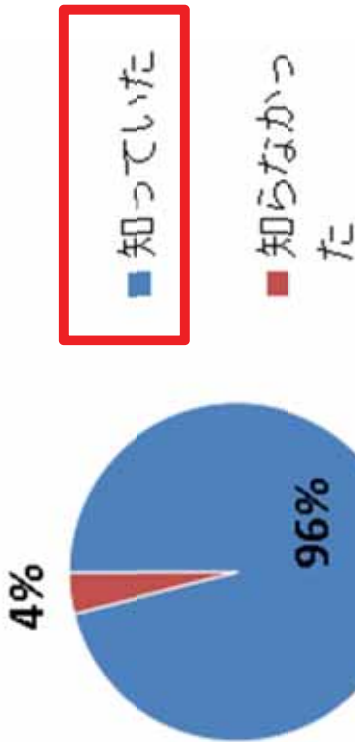
福知山河川国道事務所提供



S57 大江町(現福知山市)

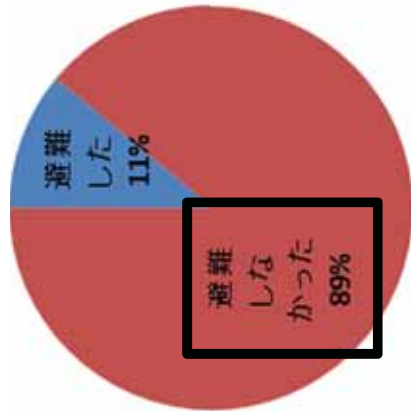
S34 福知山市内(北本町)

(問)7月豪雨の際、避難勧告や避難指示が出たことを知っていましたか？

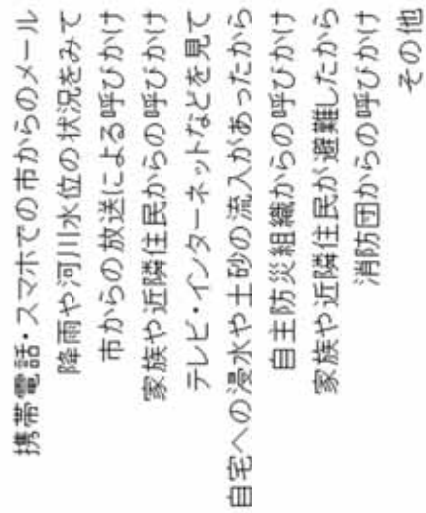


年齢	人数	割合
20代	28	3.9%
30代	63	8.8%
40代	94	13.2%
50代	104	14.6%
60代	173	24.3%
70代	160	22.4%
80代以上	91	12.8%
合計	713	100%

(問)7月豪雨災害時に避難をされましたか？



(問)避難したきっかけは？



### (検討会の設置目的)

平成30年7月豪雨等、近年、気象状況が激変する中で、**激甚化・頻発化する豪雨災害**に対応するとともに、社会環境の変化に伴う、スマートフォンなど**情報伝達ツールが多様化**していく中で、改めて、**市民の避難に対する意識のあり方**や、**避難行動に繋げるための情報発信のあり方**、**避難所運営等も含めた避難のあり方全般**について**対応策の検討**を行いました。

### (検討する6つのテーマ)

- ① 避難のスイッチとなる情報をどのような形で発信するのか
- ② 高齢者や要配慮者に情報をどのように伝えるのか
- ③ 高齢者等の要配慮者など、住民をどのように誘導するのか
- ④ 避難先はどうするのか
- ⑤ 避難所の受入れ体制・運営の内容はどうか
- ⑥ 地域の災害リスクを理解し避難行動につなげるための防災教育の推進

### (避難のあり方検討会の委員)

(メンバー構成)

- ・京都大学 矢守教授、香川大学 竹之内講師
- ・自治会、自主防災組織、民生児童委員 代表
- ・社会福祉協議会、民間社会福祉施設連絡協議会 代表
- ・国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所長
- ・京都府危機管理部、中丹広域振興局、中丹西土木事務所 代表
- ・福知山市副市長

### (検討会の開催経過等)

- 第1回検討会：令和元年11月12日  
 第2回検討会：令和元年12月19日  
 第3回検討会：令和2年2月18日  
 中間とりまとめ策定：令和2年6月  
 第4回検討会：令和2年12月18日  
 第5回検討会：令和3年2月18日  
 最終とりまとめ策定：令和3年3月

### (今後の取組)

- 最終とりまとめで定めた、今後の方向性に基づき、各テーマごとにモデル実施など、具現化を図るための取組みを進める。
- 毎年「避難のあり方検討会推進シンポジウム」を開催。また、各種取組の進捗を報告する「避難のあり方検討推進懇話会」を実施

# 最終とりまとめの概要 テーマ1、2

【テーマ1.避難のスイッチとなる情報をどのような形で発信するのか！】

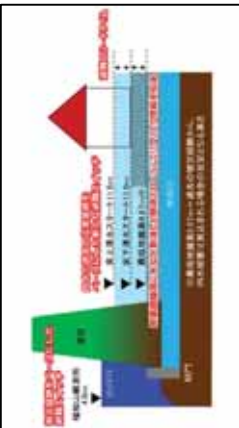
○現状及び課題

- ・災害時、様々な情報伝達手段により情報発信しており、情報が伝わっているが、実際の避難に繋がっていない。
- ・災害時には、広域的な数多くの情報があふれており、市民が自分自身に関わるリアルで、かつ避難行動に繋げるべき情報として捉えられていない。
- ・自ら避難に踏み切れない人であっても、信頼できる人からの声掛けにより避難に繋がるケースがある。

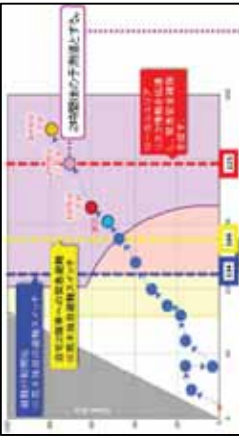
○今後の方向性

- (1) 各地域において、それぞれの災害リスクに応じて市民が切迫感をもって、自分事として捉えられる避難スイッチとなる情報として、マイマップの取組を通じ、ローカルエリアリスク情報の設定を行う。

＜内水氾濫モデル地区豊原自治会の避難スイッチの設定イメージ＞



＜土砂災害モデル地区荒木自治会の避難スイッチの設定イメージ＞



- (2) 防災アプリ等デジタル防災行政無線システムにより避難情報等を補完するローカルエリアリスク情報の発信を行うとともに、地域が主体的に情報収集を行うよう取組を進める。

「内水等氾濫の情報入手先」としては、水位計、浸水センサー等を活用し、「土砂災害の情報入手先」としては、気象庁の土砂災害危険度分布、京都府土砂災害警戒情報ページ等を活用する。

- (3) 地域住民が参画してマイマップ・マイタイムラインを作成するとともに、訓練への活用を含め避難の実践に繋げる。

【テーマ2.高齢者や災害時要配慮者等に情報をどのように伝えるのか！】

○現状及び課題

- ・地域では、災害時要配慮者に対して避難の呼びかけが行われ、実際の避難につなげた事例が多くある。
- ・市が市民に対し、避難情報等を伝達するため、情報が伝わりにくい災害時要配慮者も含めたメールや戸別受信機等を活用した一層の個別受信体制の整備が必要である。
- ・災害時要配慮者以外の元気な高齢者や子どもたち等のフォローをどうするか。
- ・情報が伝わらない人がいないように、例えば地域内のリーダー等を中心とした直接の声掛け等による情報伝達、情報共有の仕組みが必要である。

○今後の方向性

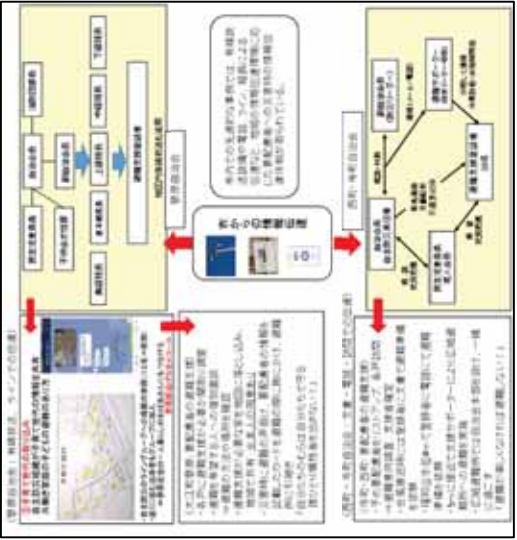
- (1) 要配慮者に有効な情報伝達手段として防災アプリを導入、インスタルサポートや広報・啓発により活用促進を図る。
- (2) 地域での情報伝達について、先進事例の紹介等により体制整備の働きかけを行うとともに、リーダーの育成、「逃げなきやコール」を推進する。

＜地域の声掛けの成功事例＞



商月日新聞社提供 (2018年7月12日掲載)

＜地域の情報伝達先進事例＞



＜防災アプリ機能：要配慮者対応仕様＞



- ・市が配信する防災情報を文字、音声両方で何度でも確認可能
- ・8か国語変換対応
- ・高齢者の利用が多い「らくらくフォン」でもインストール可能

＜逃げなきやコールの推進＞



国土交通省提供

# 最終とりまとめの概要 テーマ3、4

【テーマ3. 高齢者等の災害時要配慮者など、住民をどのように誘導するのか！】

○現状及び課題

- ・福知山市災害時要配慮者支援事業により事前に地域に名簿の提供を行っているが、手上げ方式であるため、全要配慮者を網羅した名簿とはなっていない。
- ・共助での避難支援の強化及び共助による避難支援が困難な重度の要配慮者の支援を検討する必要がある。
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成、訓練実施の取組が進んでいない。

○今後の方向性

- (1) 現在の手上げ方式による要配慮者の名簿の作成、地域への提供について、令和3年度から同意方式に切り替える。条例制定による名簿提供手法については、引き続き検討を進める。
- (2) 共助による避難支援の強化や災害時ケアプランの作成については、マイマップ・マイタイムラインの取組や災害時ケアプランのモデル実施により要配慮者の避難体制の確保を図る。

- (3) 災害時ケアプランの取組を通じた福祉施設での受入拡大や地区避難所、マイカー避難所等の多様な避難先の確保・開拓を推進する。



- (4) 名簿作成や要配慮者の個別避難計画など、国の動向に留意しながら取組を進める。
- (5) 要配慮者利用施設の避難確保について、令和3年度中の全施設での計画策定を完了させるとともに各施設での訓練を推進する。



避難確保計画研修会

【テーマ4. 避難先はどうするのか！】

○現状及び課題

- ・避難所へ避難者が集中することによる収容人員超過のおそれがある。
- ・地域が自主的に開設する地区避難所の実態把握と今後の運用の検討が必要となっている。
- ・「避難」とは何を意味するかについて市民への周知が必要である。

○今後の方向性

- (1) 避難場所の多様な選択肢の中から、市民各自が災害リスクに応じた適切な避難場所を選択することが重要であり、引き続き広域避難所の開設や地区避難所の有効活用を区る取組等によって住民の避難誘導に繋げる。

＜マイマップで設定された事前の避難場所数＞

個人宅	民間企業	医療機関	老人介護施設
15箇所	4箇所	1箇所	1箇所
寺社仏閣	農業施設	官公庁施設	高梁道路等
2箇所	4箇所	1箇所	2箇所



＜マイマップ作成を通じた災害の避難場所の設定＞

- (2) 各地域において災害リスクや避難行動を我が事として認識してもらうため、マイマップ・マイタイムラインの作成を推奨すると共に、市民が実践しやすい防災に関する情報を季節やイベント等適切なタイミングで発信する。



＜広報ふくちやま令和2年7月号＞

# 最終とりまとめの概要 テーマ5、6

【テーマ5. 避難所の受け入れ体制・運営はどうするのか！】

○現状及び課題

- ・市の広域避難所に避難者が集中した場合、対応が困難になる事が予想される。
- ・避難所は必ずしも過ごしやすい場所となっておらず環境改善を進める必要がある。
- ・長期避難に対応した避難所運営や、支援を受けるための取り決めを策定する必要がある。
- ・長期避難を想定した避難者ケア体制の整備、資機材の充実を図る必要性がある。



<令和2年度福知山市地域防災訓練>

○今後の方向性

- (1) 住民による自主的な避難所運営や様々なニーズへの対応など、指定緊急避難場所・指定避難場所の運営のルール化を進める。 <被災後の被災者健康ケア対応>
- (2) 指定緊急避難場所・指定避難所の施設改修に合わせた施設環境整備や資機材整備を計画的に行うとともに、避難所生活における健康管理について支援体制を構築する。



- (3) 福祉避難スペースを有する避難所をはじめとする広域避難所における資機材の整備・充実等、環境改善を計画的に進めるとともに、災害時要配慮者の避難受入体制の整備を進める。
- (4) 平常時から関係機関と連携して代替道路の確認を行い、災害時における緊急車両の移動経路の確保を行う。

【テーマ6. 災害リスクを理解し避難行動につなげるための防災教育の推進！】

○現状及び課題

- ・小中学校の避難訓練は、学校運営中を想定した訓練であり、自宅等で過ごしている状況を想定した災害対応の学習等は十分ではない。
- ・子ども達が、地域の災害リスクを理解し自らが判断、適切な避難行動をとる事が必要。
- ・生涯を通じた防災教育の現状として出前講座やマイマップの作成に取り組んでいる。

○今後の方向性

- (1) 児童生徒が自らの命を守るための新たな防災教育の取組として、福知山市独自の学習計画を策定し、地域の災害リスクを知り、防災に関心を高め社会貢献できる力を育む。また、我が家の避難計画の作成や地域での訓練の参加などを通じ、家庭・地域と防災に関する意識を共有、自らや身近な人を守る高い防災意識を持った子どもたちを育成する。



防災教育の授業風景

テーマ：「逃げ時 逃げ場所 事前に確認！」  
・授業実施：7月中旬～下旬  
対象：全小学校の全学年  
・ハザードマップを用いて、自分の家や通学路で起こる災害を確認し、地域の事情に応じた防災について学習。

<マイマップによる災害の記憶の継承>

- (2) 市民の生涯を通じた防災教育の推進として、マイマップ・マイタイムラインの作成を通じた意識の向上やリーダーの育成、災害の記憶の継承等により、市民が災害リスクを理解し、高い防災意識を維持するとともに、災害時の適切な避難行動に繋げる。

<福知山自主防災ネットワークの取組>



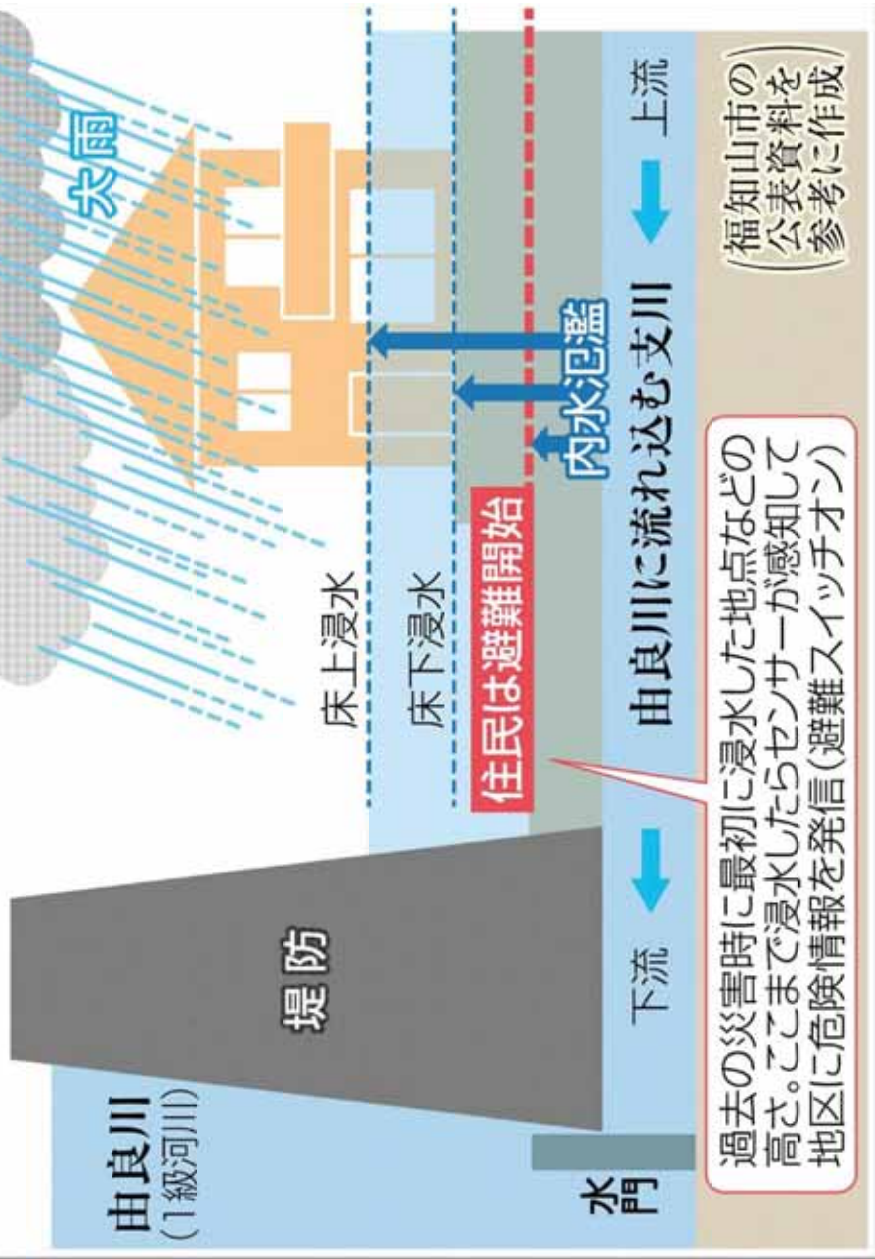
福知山自主防災ネットワーク提供





## 内水氾濫

### 福知山市が取り組む内水氾濫の避難スイッチのイメージ



観音寺に設置の浸水センサー



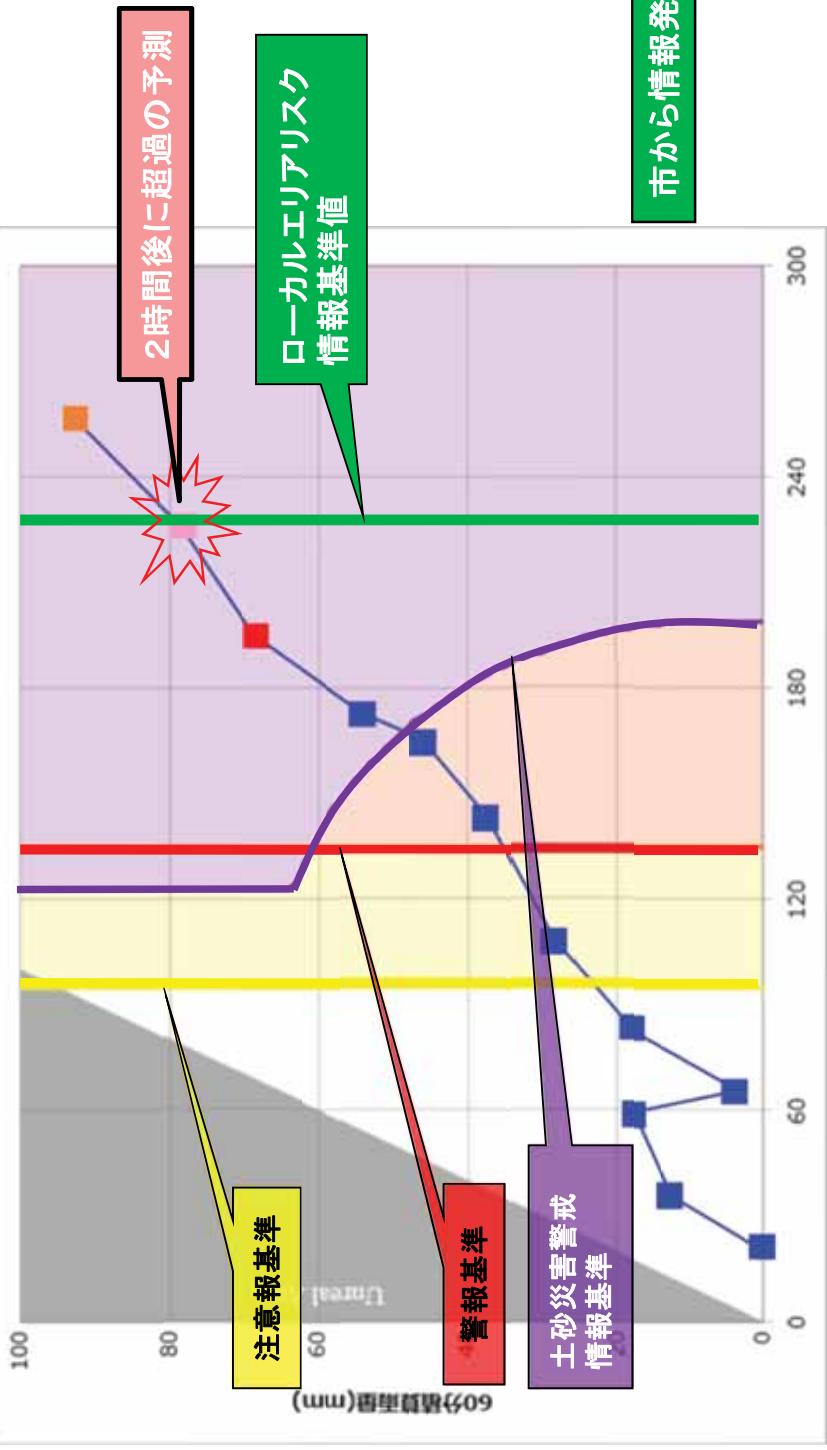
センサーが浸水を感じれば、LINE及び福知山市防災アプリで市から地域へ情報発信

浸水センサー設置自治会拡大中

	設置自治会	設置台数
R2	5	10
R3	7	14
R4	8	15
<b>合計</b>	<b>20</b>	<b>39</b>

(西日本新聞社提供)

**土砂災害**



土砂災害を対象としたローカルエリアリスク情報の基準値は、土壌雨量指数の過去の最大値（既往最大値）、または、過去の災害発生時の値を採用。2時間後に採用した基準値を超過すると予測された場合は、ローカルエリアリスク情報を発信。

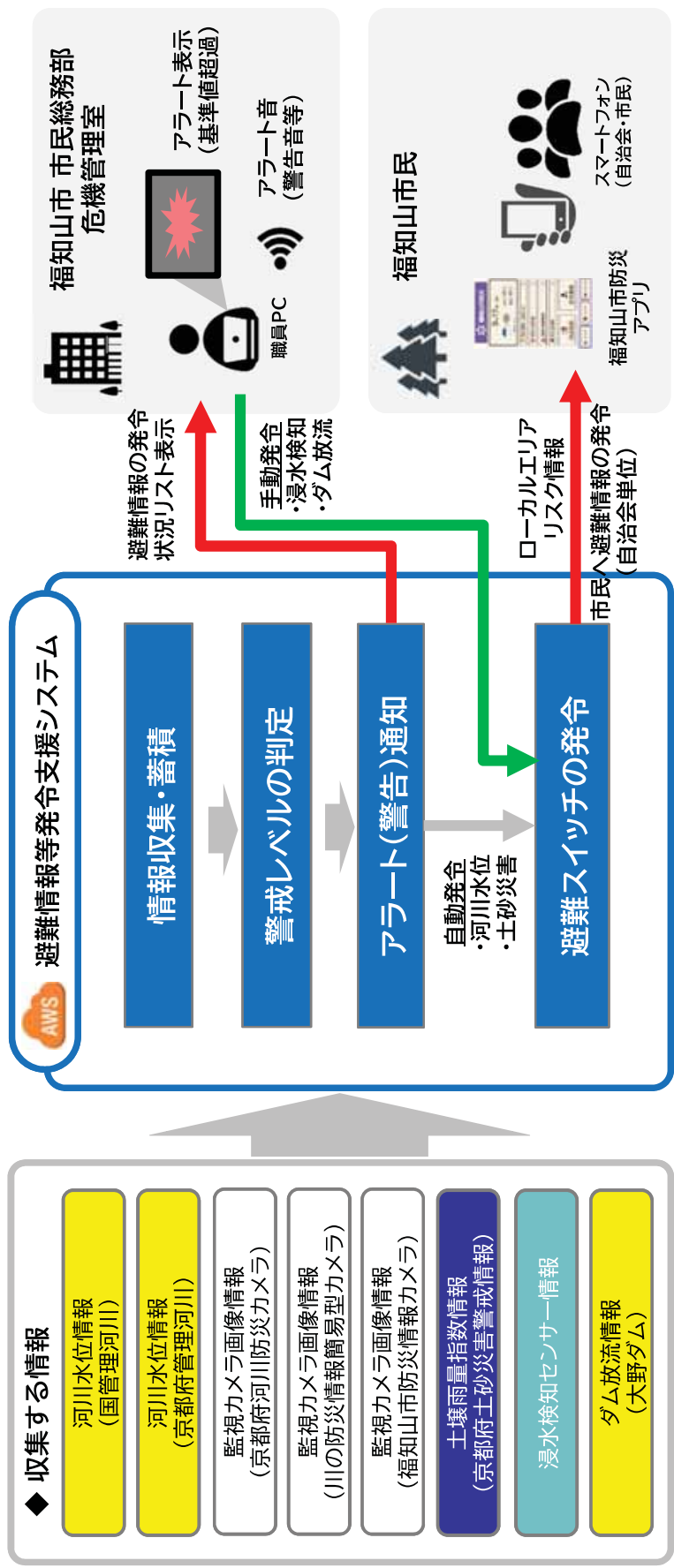
ローカルエリアリスク情報は、アプリ「福知山市防災」で受信できます。



ローカルエリアリスク情報の設定（マイマップ作成）



# 避難情報等発令支援システムの導入について



【システム導入により解決できる課題】

- ① 出来るだけ細分化した地区名(自治会)と合わせた避難情報の発令の実現
- ② 情報収集から避難情報の発令までの時間短縮による初動体制の確立
- ③ 人が情報収集する場合に起こる可能性が有るヒューマンエラーの回避
- ④ 市内の現状(警戒レベルの状況)を一目で把握出来る情報集約と整理
- ⑤ システムで保持する避難スイッチ情報の他業務(個別避難計画等)への活用

# 防災アプリ「福知山市防災」で 自治会ごとに危険情報をお知らせします！

公開から2年で約12,800ダウンロード  
(R5.4月現在)  
福知山市民の7人に1人がダウンロード！



「地域の危険情報」とは、市が発令する「避難指示」など避難情報に加えて、自治会ごとの災害実績や地域が独自で決める、避難のタイミング(避難のスイッチ)などの情報です。

こんな時に情報が届きます

- ✓ 自治会周辺の土砂災害発生  
の危険度が過去最高に近づいている時
- ✓ 自治会で設置した浸水検知センサーが反応した時  
※浸水検知センサーや河川水位の設定については危機管理室までお問い合わせください。



- ✓ 河川水位が自治会で定めた水位に到達した時など

## 配信例

平成26年8月豪雨災害に匹敵する記録的な大雨となり、おり、重大な土砂災害が発生する、極めて危険な状態となっております。  
まだ避難が完了していない人は、周りの状況に十分注意し、直ちに安全な場所に避難してください。

## 配信例

浸水検知センサー(〇〇川樋門)が浸水を確認しました。  
道路が冠水するおそれがあります。直ちに安全な場所に避難してください。

## 配信例

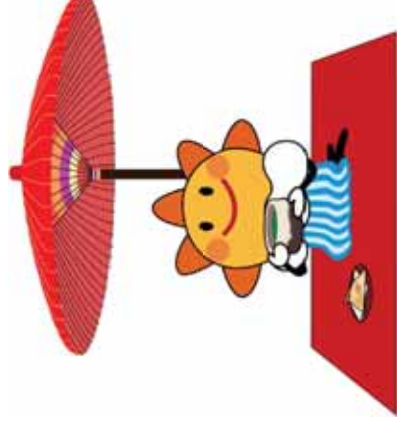
由良川が7.0m(大雲橋観測所)に達し、〇〇自治会付近が浸水するおそれがあります。  
まだ避難が完了していない人は、周りの状況に十分注意し、直ちに安全な場所に避難してください。

システム開発により令和5年4月から自動配信！

# 令和5年出水期における 防災気象情報改善事項について

- ・ 顕著な大雨に関する気象情報の運用変更（予測による発表の運用開始）
- ・ 気象庁ホームページにおける水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示開始
- ・ 早期注意情報の地図表示コンテンツの提供開始

## 京都地方気象台



はれるん ～ 気象庁マスコットキャラクター～

# 顕著な大雨に関する気象情報の運用変更について

(予測による発表の運用開始：令和5年5月25日～)

## 顕著な大雨に関する気象情報を、より早く、提供します

令和5年  
5月25日～



現在は、線状降水帯の発生をもって「顕著な大雨に関する気象情報」を発表しているところ、雨量予測も用いて線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えることを目指す。

加えて、以下のデータも提供

- 楕円データ（予測及び実況）：データ配信（事業者等向け）
- 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を実況で超過した地域（線状降水帯が発生した地域）：気象庁HPの解説ページに自動掲載



## 顕著な大雨に関する気象情報の新運用における発表基準

### 情報の発表条件

- 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表条件を踏襲し、現在の、実況で到達したら発表する運用を、予測の段階で到達することが分かったら早めに発表する運用に変更する。
- 雨量予測には速報版降水短時間予報を用い、令和5年度の改善においては、早いときで現在より30分程度早く、全自動で情報を発表する。

#### 現行の顕著な大雨に関する気象情報の発表基準

- ① 解析雨量（5km×5km）において前3時間積算降水量が100mm以上の分布域の面積が500km<sup>2</sup>以上
- ② ①の形状が線状（長軸・短軸比2.5以上）
- ③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上
- ④ ①の領域内の土砂キキクルにおいて土砂災害警戒情報の基準を**実況**で超過（かつ大雨特別警戒の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上）又は洪水キキクルにおいて警戒基準を大きく超過した基準を**実況**で超過

#### 新しい顕著な大雨に関する気象情報の発表基準

- ① 前3時間積算降水量（5km×5km）が100mm以上の分布域の面積が500km<sup>2</sup>以上となる**予測**
- ② ①の形状が線状（長軸・短軸比2.5以上）となる**予測**
- ③ ①の領域内の前3時間積算降水量最大値が150mm以上となる**予測**
- ④ ①の領域内の土砂キキクルにおいて土砂災害警戒情報の基準を**予測**で超過（かつ大雨特別警戒の土壌雨量指数基準値への到達割合8割以上）又は洪水キキクルにおいて警戒基準を大きく超過した基準を**予測**で超過

30分先までの予測で条件を満たさず、実況で満たした場合も発表

※ 上記①～④すべての条件を同時に満たした場合に発表

※ 上記①～④すべての条件を同時に満たした場合に発表

## 顕著な大雨に関する気象情報の内容

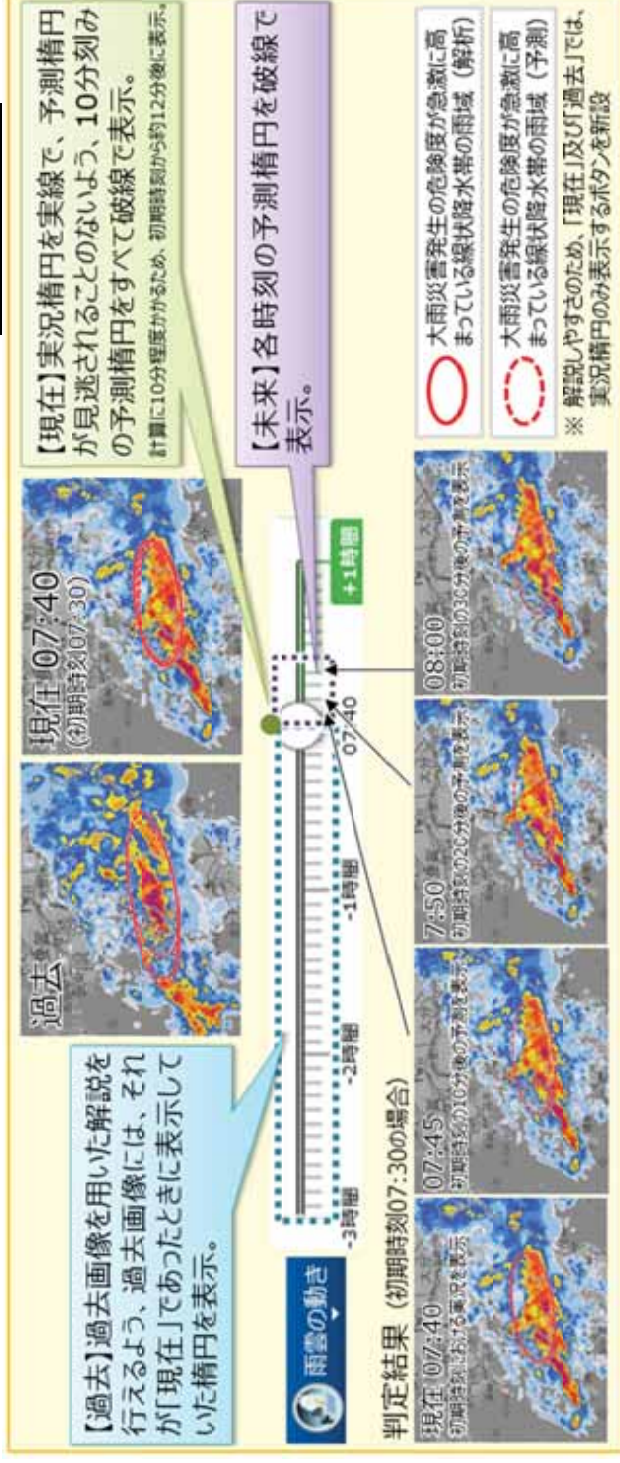
- 文字情報での表示

顕著な大雨に関する〇〇県気象情報 第1号  
令和5年〇月〇日〇時〇〇分 〇〇気象台発表  
(見出し)

新たな運用で、この部分のみ変更

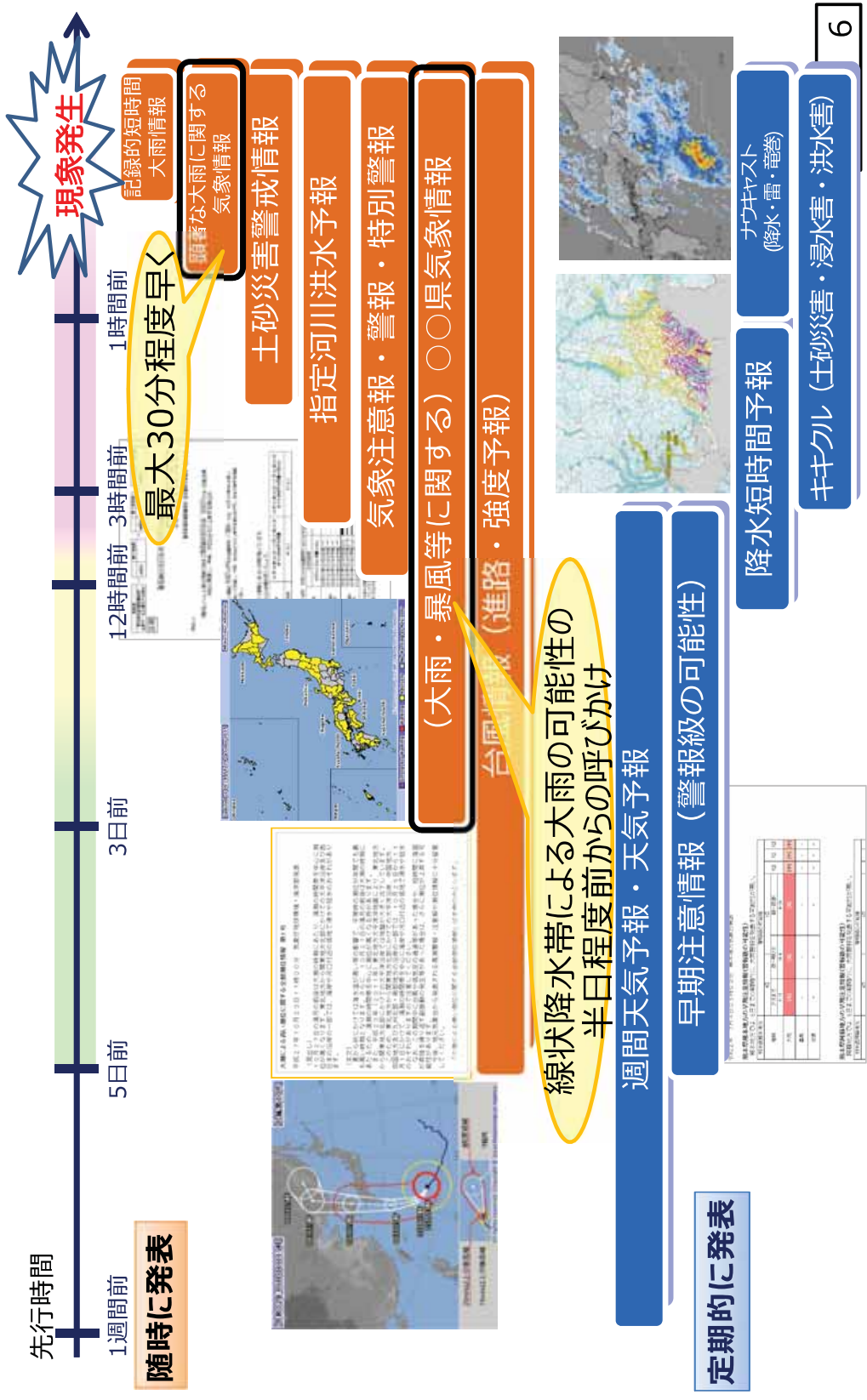
〇〇地方、〇〇地方では、**線状降水帯とみられる雨雲により**、非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。  
(本文)  
なし

- 気象庁HPでの表示：「雨雲の動き」、「今後の雨」の地図上に**赤楕円**で、予測の段階から表示する。



## 大雨時に段階的に発表される防災気象情報

気象庁は様々な防災気象情報を発表しており、線状降水帯に関する情報は、この中のひとつ。この情報だけに着目するのではなく、段階的に発表される防災気象情報全体を活用いただくことが重要。



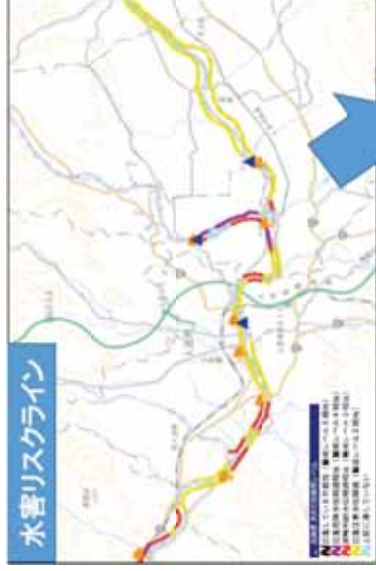
# 洪水に関する危険度情報の一体的発信

(気象庁ホームページにおける水害リスクラインと洪水サイクルの統合表示開始)

## 洪水に関する危険度情報の一体的発信

「国管理河川の洪水の危険度分布※」  
(水害リスクライン)

※ 大河川のきめ細かな越水・溢水の危険度を伝える



「洪水警報の危険度分布※」  
(洪水キキクル)

※ 中小河川の洪水危険度を伝える



自治体・住民が  
それぞれの詳細なリスク情報を  
**洪水キキクルページ (気象庁HP)**  
でワンストップで確認可能に

## 洪水に関する危険度情報の一体的発信

### 水害リスクライン

避難情報に関するガイドラインに一部加筆

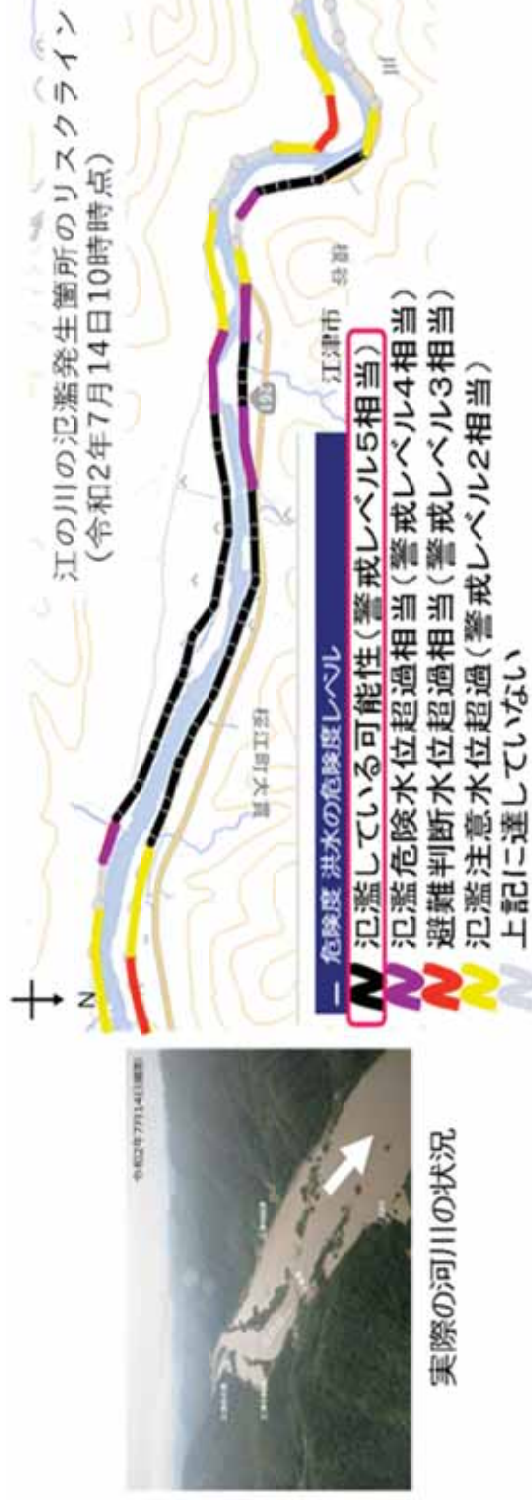
#### 「国管理河川の洪水の危険度分布（水害リスクライン）」について

国管理河川では、数 km～数十 km の予報区域を対象に発表する洪水予報等に加えて、縦断的な水位（水面形）を計算により推定し、左右岸それぞれ、概ね200m ほどの洪水の危険度分布（水害リスクライン）を令和 2 年より提供している。

概ね200mごとに推定した水位が、堤防等の高さを超過し、氾濫している可能性のある箇所を黒色（警戒レベル 5 相当情報）で表示するなど、各箇所の危険度をきめ細かく把握できることから、避難情報発令の参考にできる。

<https://fri.river.go.jp/>（一般向けに現況値を提供）

※市町村向けサイトでは、6 時間先までの水位予測や危険度分布を提供。



# 洪水に関する危険度情報の一体的発信

**洪水キキクル** 避難情報に関するガイドラインに一部加筆

**洪水警報の危険度分布について**  
 「洪水警報の危険度分布」は、洪水警報を補足する情報である。指定河川洪水予報の発表対象ではない中小河川（水位周知河川及びその他河川）の洪水災害発生危険度の高まりの予測を示しており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができる。流域雨量指数の実況値又は3時間先までの予測値が洪水警報等の基準値に到達したかどうかで、危険度を5段階に判定し、色分け表示している。  
 令和3年2月24日より、気象庁ホームページがリニューアルされ、雨雲画像と3種類の危険度分布（土砂災害、浸水害、洪水災害）を一つの画面で監視できるようになっている。  
 ([https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain\\_level](https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=rain_level))



## 洪水に関する危険度情報の一体的発信

### 水害リスクラインと洪水キキクルの特徴

	水害リスクライン	洪水キキクル
対象河川	国管理の指定河川洪水予報区域 (大河川)	水位周知河川及びその他の河川 (中小河川)
利用予測時間	6時間先まで	3時間先まで
危険度の示す意味※	該当箇所の越水・溢水の危険度	該当箇所の洪水災害発生 of 危険度
危険度の表示方法	河川の左右岸それぞれの危険度を表示 (概ね200m毎)	河川の流路に沿って危険度を表示 (概ね1kmメッシュ)
危険度判定の指標	縦断的な計算水位	流域雨量指数
危険度判定の基準	該当箇所の堤防の高さを基に 定めた基準水位と指標を比較	過去災害を基に 定めた基準値と指標を比較

※該当箇所の危険度であり、同氾濫域における別の箇所からの浸水リスクからのもではない。



# 洪水に関する危険度情報の一体的発信

## 閲覧画面のイメージ

表示画面を拡大（1/40万以上）することにより、詳細な危険度の閲覧が可能。

- ▶ 拡大時：「水害リスクライン」の詳細な危険度を表示
- ▶ 縮小時：これまで通り指定河川洪水予報の発表状況を表示

拡大

縮小

水害リスクライン

指定河川洪水予報

水害リスクライン

指定河川洪水予報

水害リスクライン

指定河川洪水予報

- ※ 県の指定河川洪水予報区域：  
拡大時もこれまで通り指定河川洪水予報の発表状況を表示
- ※ 一定時間以上水害リスクラインが暴走した場合（障害等含む）：  
拡大時も指定河川洪水予報の発表状況を表示

# 洪水に関する危険度情報の一体的発信

## 具体的なイメージ(2022年8月4日 梯川)

- 2022年8月4日14時30分、石川県の梯川に警戒レベル5相当の氾濫発生情報を発表
- 水害リスクラインでは2時間以上前から上流部で危険度が高まっていることが確認可能  
→きめ細かく危険度が高まっている地点を把握できる

梯川氾濫発生情報

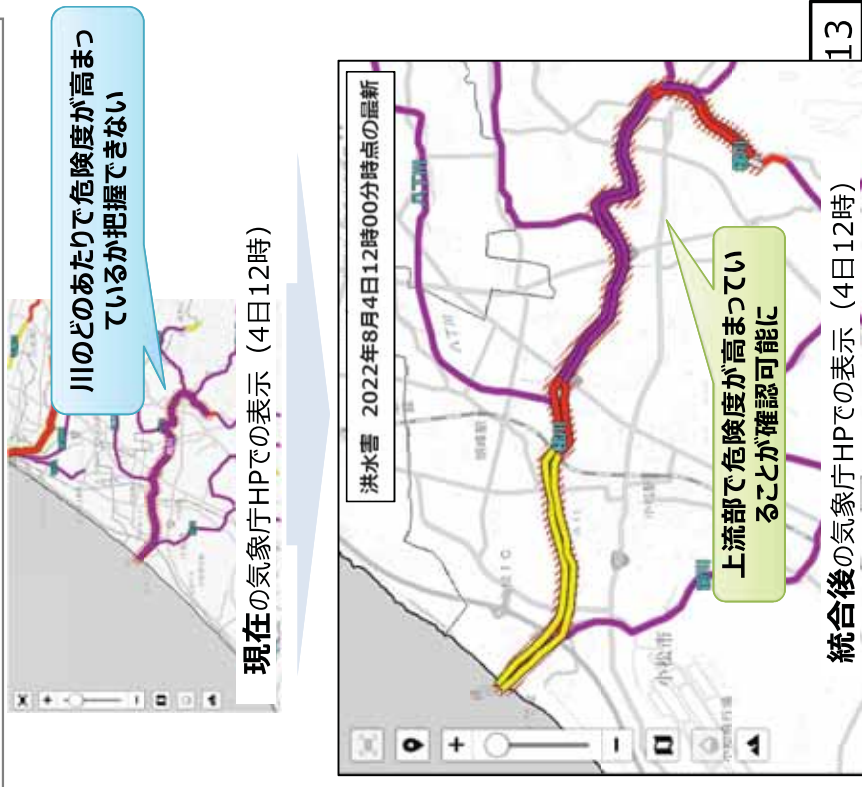
梯川洪水予報、第3号  
洪水警報  
令和4年8月4日14時30分  
金沢河川国道事務所 金沢地方気象台 共同発表

【警戒レベル5相当情報【洪水】】  
梯川では、(堤防越水による)氾濫が発生

(主文)  
【警戒レベル5相当】災害が発生しています。梯川では、埴田町、鶴川町、遊泉寺町地先10.2kから510.6k(右岸)付近において(堤防越水による)氾濫が発生しました。直方に、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

～ 以下略 ～

2時間以上前



# 早期注意情報の地図表示コンテンツの提供開始

(令和5年3月14日～)



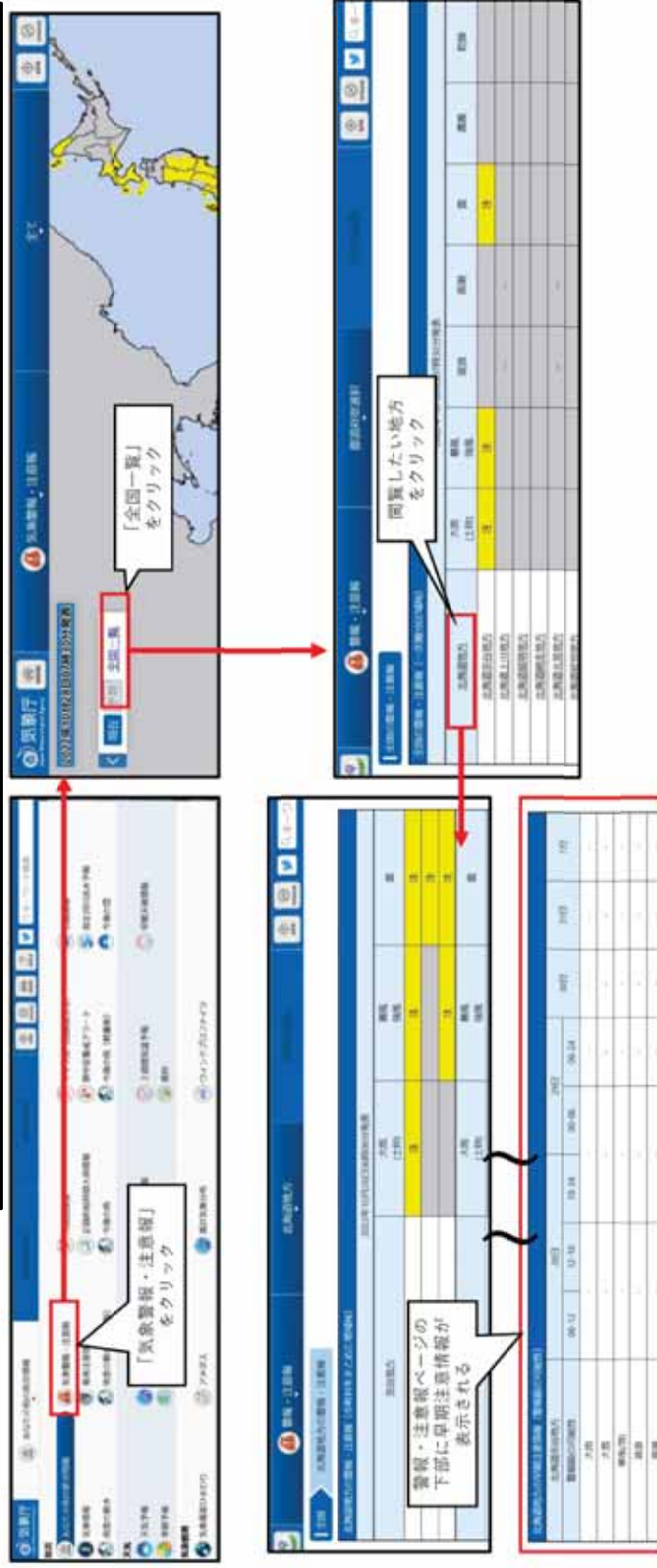
## 早期注意情報の地図表示コンテンツの提供開始

改善前

**【課題】**

- ・ 防災情報のコンテンツに「早期注意情報」の項目が無い
- ・ 「気象警報・注意報」から「早期注意情報」の表示にたどれるが、分かりづらい
- ・ 地方ごとの表形式のみで、全国を俯瞰した見方ができない

早期注意情報への辿り方



## 早期注意情報の地図表示コンテンツの提供開始

- ・ 防災情報のコンテンツに「早期注意情報」の項目を追加し、アクセス性を向上
- ・ 「早期注意情報」の表示を地図形式として視認性を向上すると共に全国を俯瞰した見方が可能とした

改善後

2025年01月23日10時発表  
全期間 (6~07/23) の予測

気象庁 早期注意情報 (警戒域の可能性)

全期間 (6~07/23)

21日06時~21日18時  
全期間 (6~07/23)

21日18時~22日00時  
22日06時~22日24時  
23日  
24日  
25日

地上の府県をクリックすると表形式のページへ画面遷移

【高】 警戒を発表中、又は、警戒を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。  
【中】 ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警戒級の現象となりをうろことを表しています。

全て / 個別の要素を表示可能

防災情報のコンテンツに追加

府県	21日06時~21日18時	21日18時~22日00時	22日06時~22日24時	23日	24日	25日
北海道	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
青森県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
岩手県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
宮城県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
秋田県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
山形県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
福島県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
茨城県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
栃木県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
群馬県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
埼玉県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
千葉県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
東京都	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
神奈川県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
新潟県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
富山県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
石川県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
福井県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
山梨県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
長野県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
岐阜県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
静岡県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
愛知県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
岐阜県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
滋賀県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
京都府	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
大阪府	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
兵庫県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
奈良県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
和歌山県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
徳島県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
香川県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
愛媛県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
高知県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
福岡県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
佐賀県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
長門県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
熊本県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
大分県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
鹿児島県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
沖縄県	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒

予報対象日・時間帯に応じ、早期注意情報の表形式と同じ情報を地図上に反映する



## 防災パトロール（危険予想箇所点検）の概要

### 1 目的

京都府内における河川、ため池、崖崩れ、宅地造成地など、災害に際して、危険が予想される箇所について、防災関係機関の職員によって点検を行ない、必要な対策を講ずることにより、各市町村の防災体制の確立を図るもの。京都府地域防災計画一般編第2編第21章防災訓練・調査計画にも明記。

### 2 実施内容

例年、出水期の前に市町村長を実施責任者とし、市町村及び関係機関担当者とパトロール班を編成して実施。詳細については「防災パトロール実施要領」に記載。

### 3 留意点

- ・ 危険予想箇所点検で確認した内容は、住民、特に高齢者等の要配慮者が適時・的確な避難が行えるよう、事前に情報の周知徹底を行い、個別避難計画の作成等対策に万全を期すること。
- ・ 実施に際しては、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、感染症対策に万全を期して巡回すること。

### 〈参考〉京都府地域防災計画一般編（抜粋）

#### 第21章 防災訓練・調査計画

##### 第2節 防災調査計画

###### 第1 計画の方針

京都府の地域における河川、ため池、山くずれ、高潮並びに宅地造成地及び高層建築物などで災害発生時に危険が予想される箇所の事前調査等を行い、防災体制の整備強化を図る。

###### 第2 計画の内容

###### 1 防災パトロール

市町村長が実施責任者となり、市町村並びに府の防災担当責任者及び警察、自衛隊等の災害対策関係者が共同して、災害時に危険が予想される箇所を調査して、それぞれ問題を想定してはその対策を検討し、必要な指示、指導を行うものとする。

実施計画は、各市町村が行い、関係機関の協力を求める。

なお、実施方法は、「防災パトロール実施要領」によるものとする。

###### 2 被害想定規模の調査

風水害等被害要因を検討し、被害を想定して、これらに対する予防、応急及び復旧の諸対策の意見をまとめ関係機関に周知する。

調査研究の実施計画は京都府の機関が行い、関係機関及び学識経験者の協力を求める。

資料④

## 水害等避難行動タイムラインの作成について

## 1 概要

- 平成 30 年 7 月豪雨において避難情報の発令が住民の避難行動につながらなかったことから、適切な住民避難を促すため、京都府では住民主体による避難行動タイムラインの作成について支援しているところ。
- 京都府では、災害危険地域約 1,500 地区※を有する自主防災組織等により水害等避難行動タイムライン（地区防災マップ等の市町村独自取組を含む。以下「タイムライン」という。）が、令和 5 年度までに作成されることを目標としている。  
※土砂災害警戒区域又は想定浸水深 3 m 以上の地域を有する地区数
- 現在、約 870 地区での作成が完了したところ（令和 5 年 1 月末時点）

## 2 依頼事項

## ①タイムラインの作成促進について

タイムラインの作成について、引き続きご協力をお願いいたします。  
地域での作成に当たっては、府のタイムライン作成支援人材（防災士）の派遣について、積極的な活用をご検討ください。

## ②タイムラインの見直しについて

実際の災害時に活用できるようタイムラインを作成して終わりではなく、訓練や地域の状況等に合わせた見直しを行うことが重要です。  
タイムラインを見直す際にもタイムライン作成支援人材（防災士）の派遣を実施していますので、ご活用をお願いいたします。

※タイムラインの作成の進め方や、ご不明な点等があれば災害対策課・各広域振興局までご相談ください。

## （参考）作成支援等の取組

市町村等の取組	府の支援
タイムラインの新規作成	・タイムライン作成支援人材（防災士）派遣
タイムラインの見直し	・タイムライン作成支援人材（防災士）派遣
その他相談等	・いつでもお気軽にご連絡ください

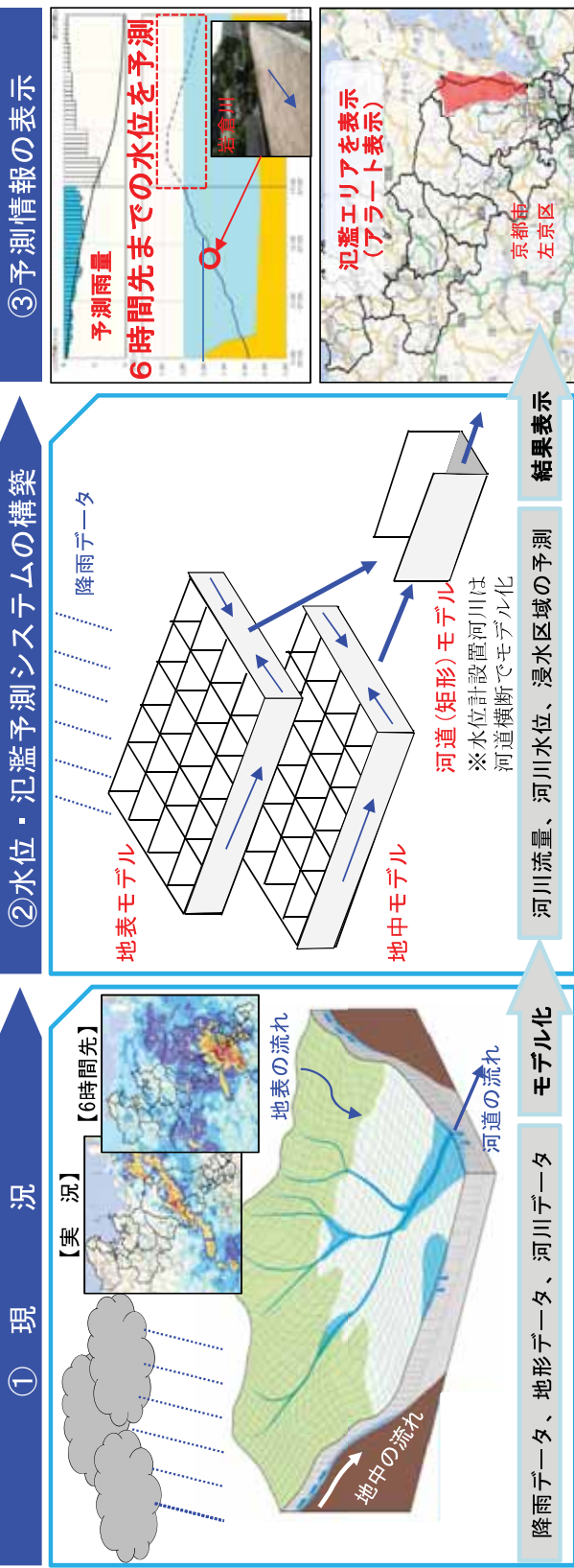
# 京都府水位・氾濫予測システム の構築

京都府建設交通部砂防課





# 水位・氾濫予測システムの概要



**④ 防災情報への活用**

**R5.6～ 先行配信開始 (府→市町村等)**

- ・ 気象庁の一般公開等に先立ち、市町村と気象庁が精度・実用性の検証を行うため配信先を限定して配信
- ・ 気象庁の検証台村
- ・ 出水時にはホットラインでの伝達情報等に活用

**順次 洪水予報河川へ指定 (府)**

(府) 出水時に気象台と共同で洪水予報を発表。  
予測情報を府民に一般公開

(市町村) 避難情報の発令基準に採用

京都市左京区(岩倉川)で氾濫発生を予測

**⑤ 早期避難**

6時間先までの氾濫区域・浸水深を予測

岩倉川  
嵯峨川

京都府水位・氾濫予測システム 事業スキーム

住民早期避難の実現



洪水予測の分野で専門的知見を持ち、多数の研究実績がある京都大学と連携し、予測システム高度化に関する共同研究を行い、洪水予測情報の強化・充実を図る



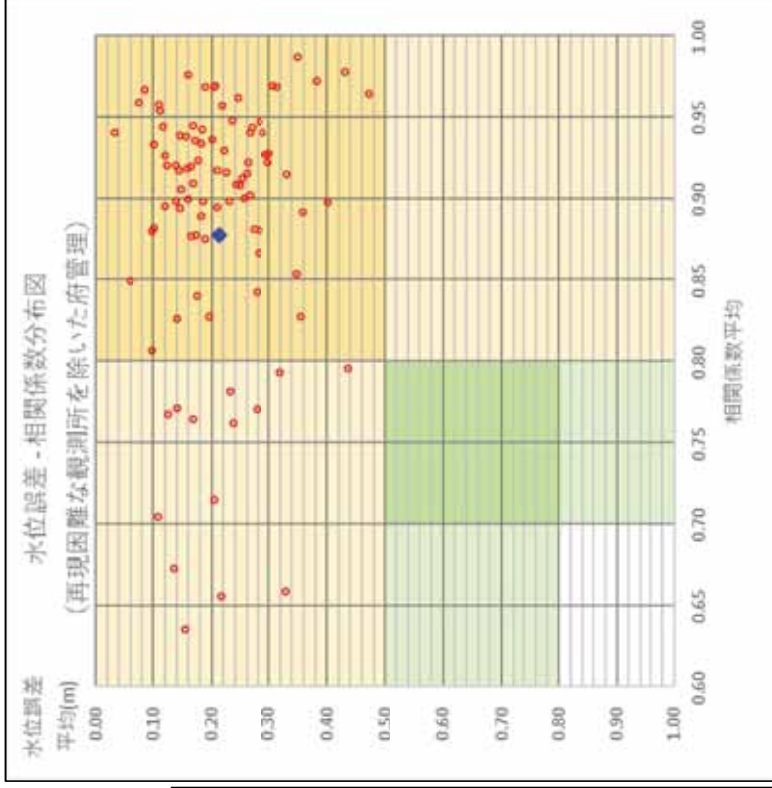
# モデル精度検証結果

府管理水位観測所 (再現困難な観測所を除く97観測所) を対象とする。

97観測所の水位誤差平均値が0.50m以下 (平均値0.21m)

80観測所の相関係数が0.80以上 (平均値0.88)

	実断面 (補正後)			
	水位誤差		相関係数	
	平均値	0.5m達成率	平均値	0.8以上達成率
1 日本海西	0.19	95.7%	0.91	89.6%
2 日本海東	0.16	100.0%	0.93	92.7%
3 由良川	0.28	86.0%	0.94	92.5%
4 桂川上流	0.20	92.7%	0.85	75.0%
5 宇治川上流	0.21	100.0%	0.93	100.0%
6 木津川上流	0.23	92.6%	0.90	96.3%
7 三川合流	0.20	93.1%	0.84	87.0%
8 モデル	0.18	93.5%	0.84	79.2%
9 木津川下流	0.27	85.2%	0.81	73.8%
10 安曇川	-	-	-	-
11 一俣大路次川	-	-	-	-
12 安威川芥川	-	-	-	-
13 モデル全域	0.21	91.9%	0.88	85.3%



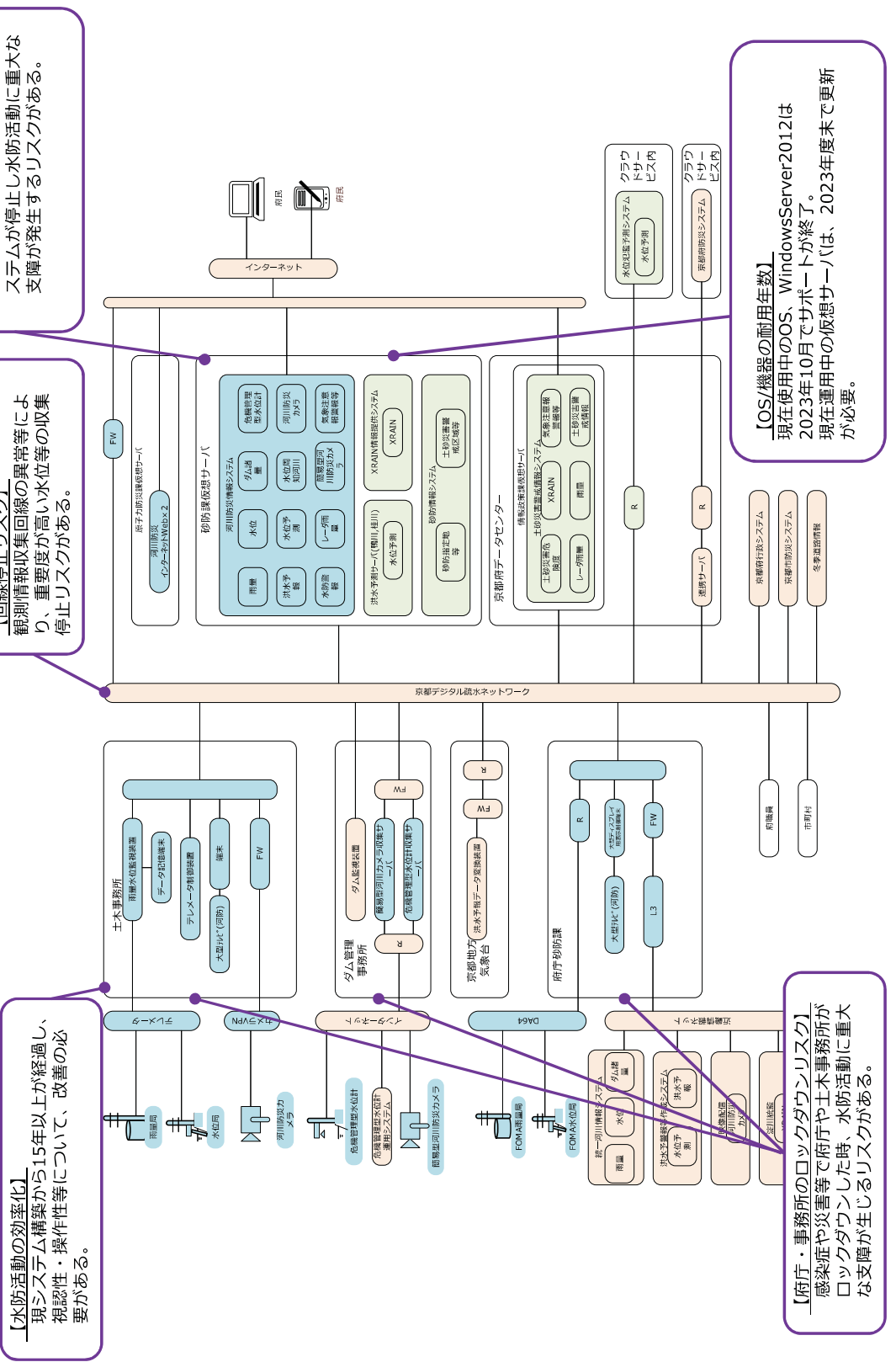
○: 個々の観測所 ◆: モデル全域



# 河川防災情報システムの再構築

京都府建設交通部砂防課

# 河川防災情報システムの課題(機器関係)



【水防活動の効率化】  
 現システム構築から15年以上が経過し、視認性・操作性等について、改善の必要がある。

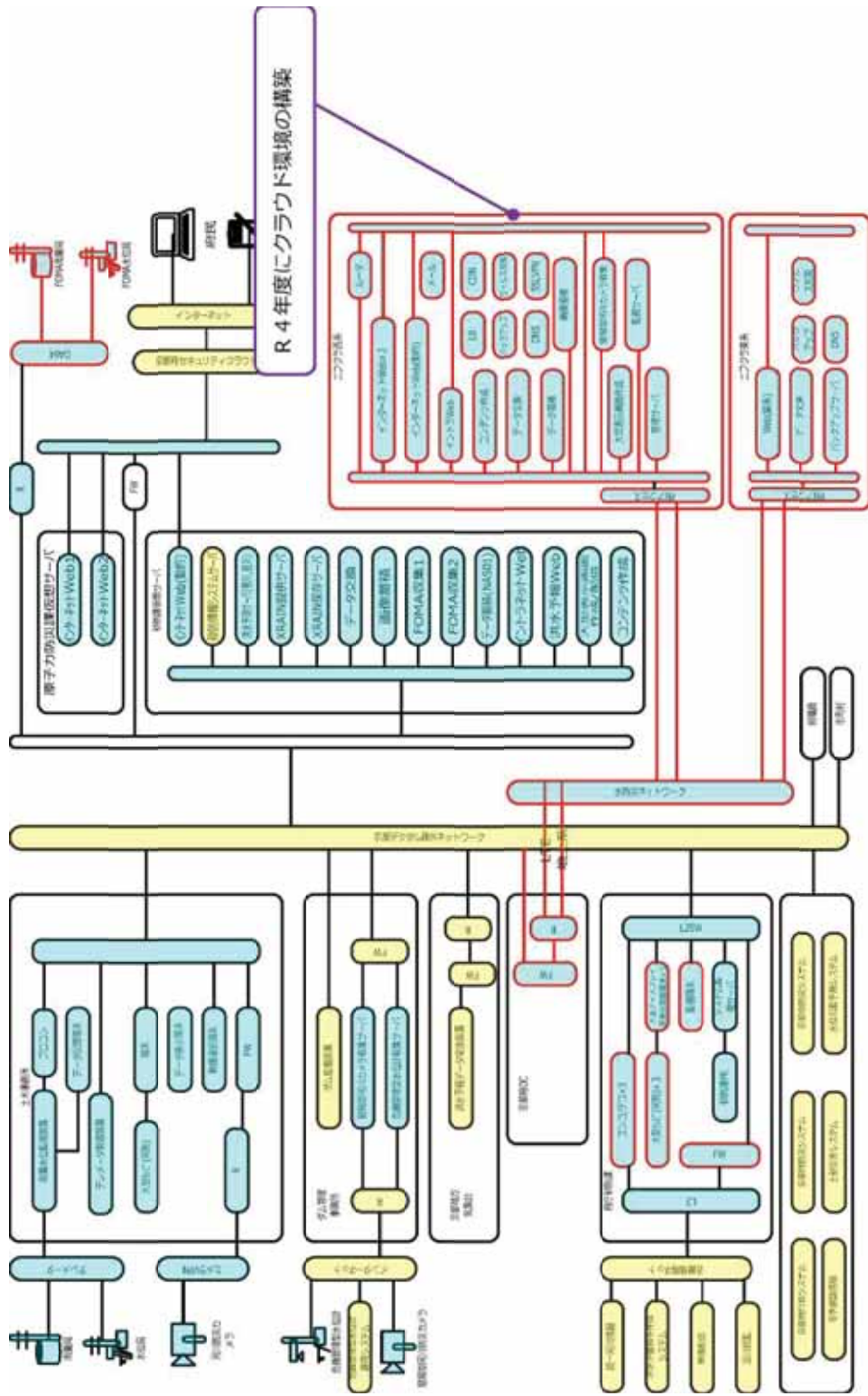
【回線停止リスク】  
 観測情報収集回線の異常等により、重要度が高い水位等の収集停止リスクがある。

【府庁基幹サーバ停止リスク】  
 機器故障や府庁の被災により、システムが停止し水防活動に重大な支障が発生するリスクがある。

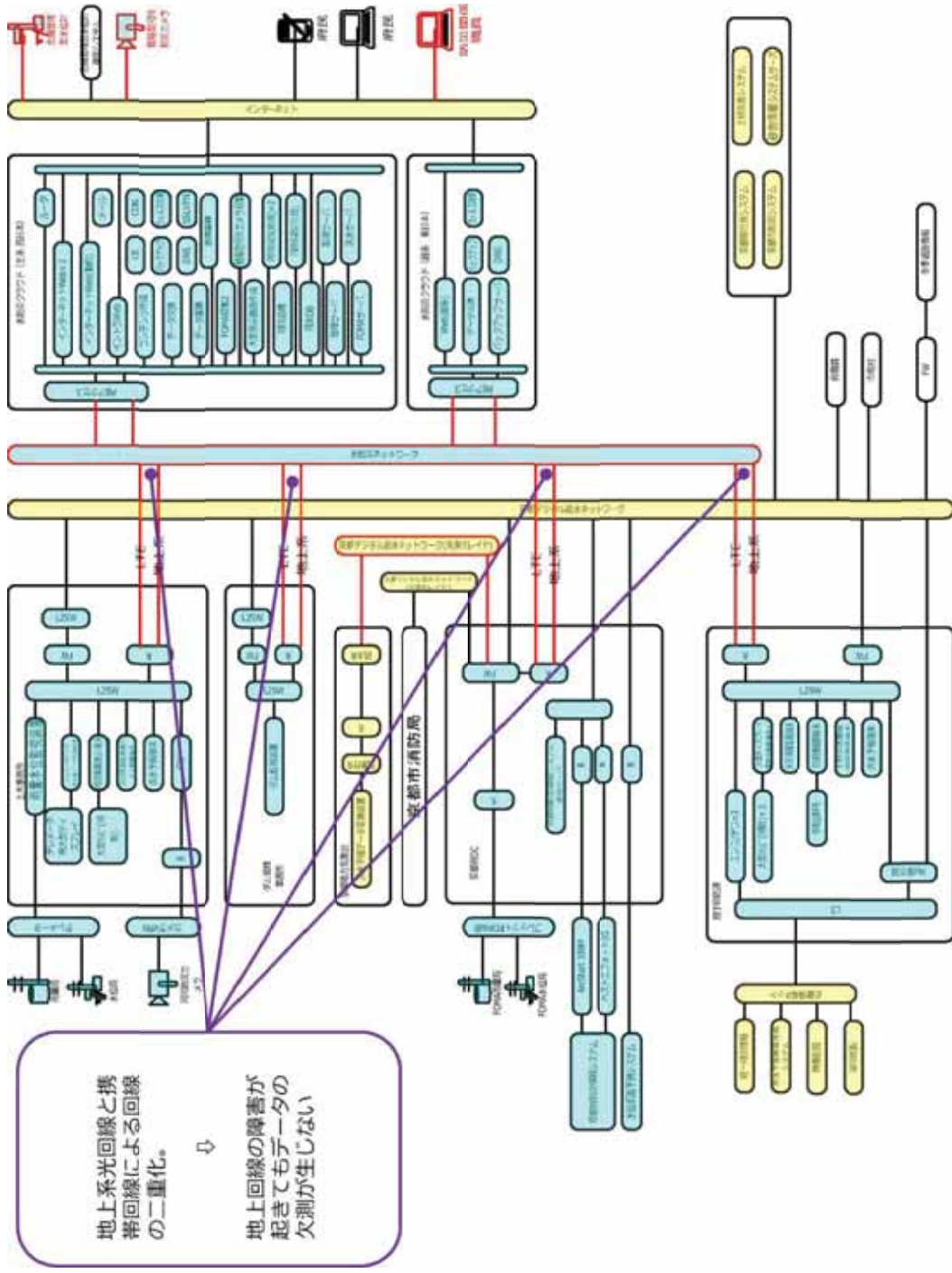
【府庁・事務所のロックダウンリスク】  
 感染症や災害等で府庁や土木事務所がロックダウンした時、水防活動に重大な支障が生じるリスクがある。

【OS/機器の耐用年数】  
 現在使用中のOS、Windows Server 2012は、2023年10月でサポートが終了。現在運用中の仮想サーバは、2023年度末で更新が必要。

# 河川防災情報システムの再構築内容【R4年度(クラウド化)】



# 河川防災情報システムの再構築内容【R5年度①(回線冗長化)】



# 1. 京都市土砂災害警戒情報のシステムの改良



## 令和4年度のシステム改良内容について

### (1)土砂災害危険度メッシュの警戒レベル5対応 (P. 3～6)

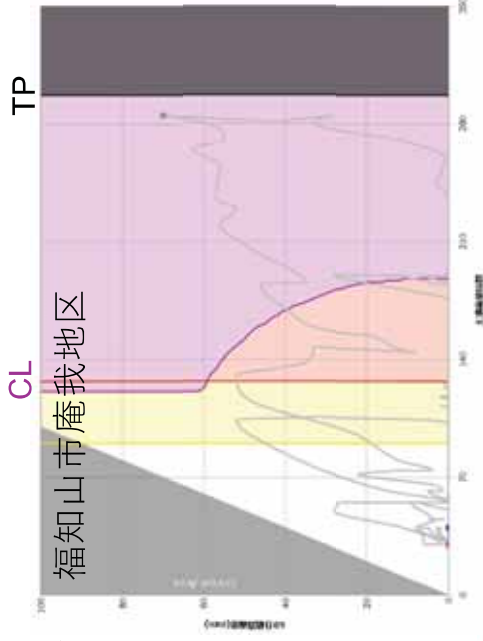
令和3年5月の災害対策基本法の改正により、避難勧告・避難指示は、避難指示へ一本化されたが、土砂災害警戒情報システムの土砂災害危険度は、警戒レベル5相当情報がなく、警戒レベルと土砂災害危険度が一致していない状況であった。

気象庁は、令和4年度6月に警戒レベル表記を変更したことから、土砂災害警戒情報システムにおいても、レベル5相当情報の警戒レベル表記を追加する。

1.1 土砂災害危険度メッシュの警戒レベル5対応

	現行データ	新データ
レベル4	予想でCL超過→薄い紫 実況でCL超過→濃い紫	実況または予想でCL超過 →紫
レベル5	対応無し	実況でTP超過→黒

※予想=2時間先



現行データ 土砂災害危険度情報 (キキクル(土砂災害))

説明	意味	警戒レベル	色
-	現在設定なし		
極めて危険	実況で土砂災害警戒情報基準に到達	-	濃い紫
非常に危険	予想で土砂災害警戒情報基準に到達	4相当	うす紫
警戒	実況または予想で大雨警戒情報に到達	3相当	赤
注意	実況または予想で大雨注意情報に到達	2相当	黄

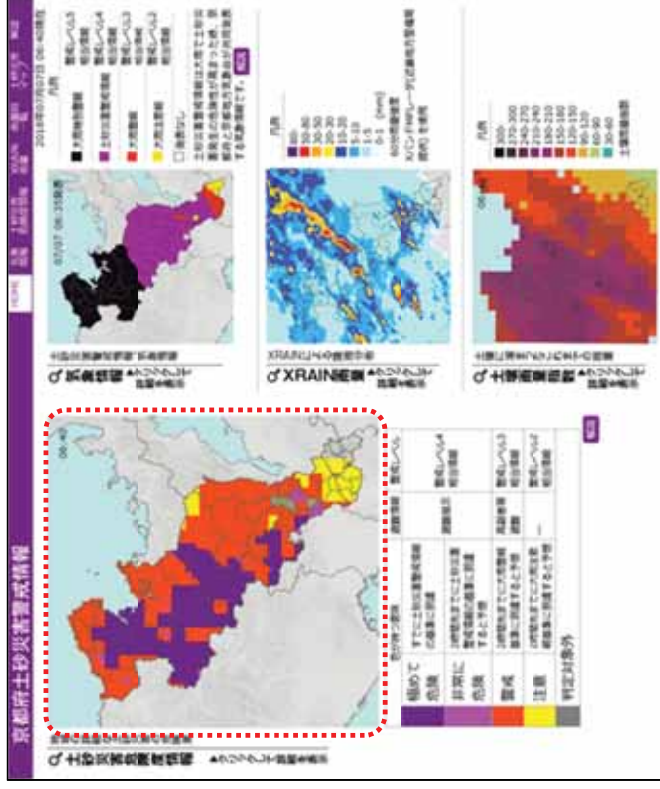
新データ 土砂災害危険度情報 (キキクル(土砂災害))

説明	意味	警戒レベル	色
災害切迫	実況で大雨特別警戒基準に到達	5相当	黒
危険	実況または予想で土砂災害警戒情報基準に到達	4相当	紫
警戒	実況または予想で大雨警戒情報に到達	3相当	赤
注意	実況または予想で大雨注意情報に到達	2相当	黄

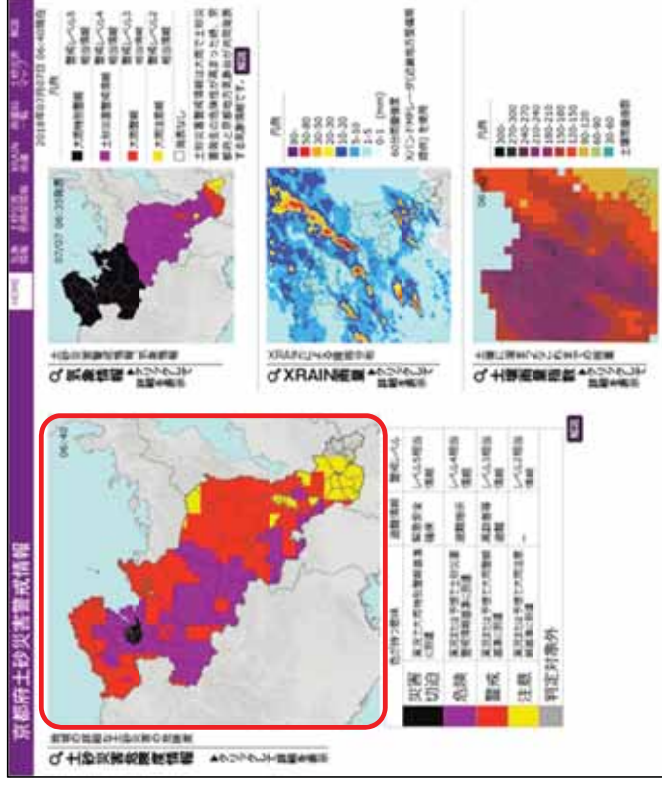
1.2 土砂災害危険度メッシュの警戒レベル5対応

【府民向けパソコン版の改修】

府民向けパソコン版 (改修前)



府民向けパソコン版 (改修後)





## 京都府土砂災害警戒情報システムの概要について

# 京都府土砂災害警戒情報システムの概要

## 1. 整備目的

京都府土砂災害警戒情報は、局地的集中豪雨により時間的余裕がない中で土砂災害発生時の危険性が高まった時、①市町村による迅速な避難指示等の判断を支援すること、②府民の自主避難等の判断を支援することを目的とし、1kmメッシュ土砂災害危険度情報や地区別XRAIN雨量情報を府民や防災関係機関へインターネット等により情報提供することを目的として整備した。

## 2. 提供する情報

### (1) 土砂災害警戒情報

大雨警報（土砂災害）が発せられている状況で、土砂災害発生時の危険度がさらに高まったとき、市町村長による避難指示発令や、府民の自主避難の判断などのため、市町村を指定して警戒を呼びかける情報で、京都府と京都府気象台が共同で発表しています。

### (2) 土砂災害危険度情報

土砂災害危険度情報は、土砂災害警戒情報を補足する情報です。1km四方の流域（メッシュ）ごとに、土砂災害発生時の危険度を4段階に判定した結果を表示しています。避難にかかる時間を考慮して、危険度の判定には2時間先までの土壌雨量指数、60分間積算雨量の予想を用いています。

災害切迫	警戒レベル5 相当情報	警戒レベル5 相当情報
危険	警戒レベル4 相当情報	警戒レベル4 相当情報
警戒	警戒レベル3 相当情報	警戒レベル3 相当情報
注意	警戒レベル2 相当情報	警戒レベル2 相当情報

### (3) XRAIN

京都府土砂災害警戒情報では、国交省が提供するXRAINを表示しています。XRAINが提供するレーダでは、従来の4倍、約250mメッシュの解像度で観測します。

### (4) 気象庁レーダー

京都府土砂災害警戒情報では、気象庁が提供する気象庁レーダー雨量を提供しています。約1kmメッシュの解像度で観測します。

### (5) 観測雨量

京都府土砂災害警戒情報では、雨量高の観測雨量を提供しています。提供情報は10分雨量、60分雨量、累積雨量です。

### (6) 土砂災害警戒区域等

土砂災害防止法に基づき基礎調査を行い、土砂災害発生による危害の恐れがある土地を土砂災害警戒区域・特別警戒区域として指定したものです。対象とする自然現象は、土石流、急傾斜地の崩壊、地滑りです。

## (7) 地区別監視・4画面

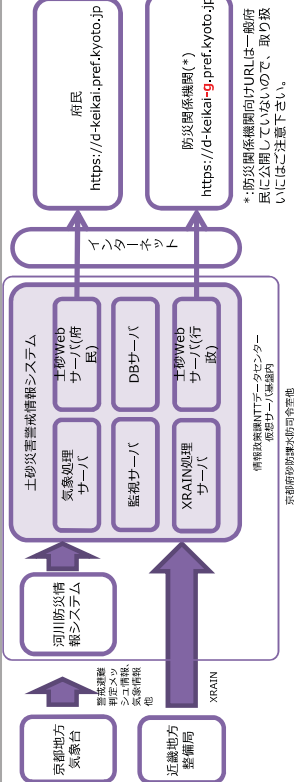
地域の警戒や避難に役立つため、地区毎の土砂災害危険度情報、XRAIN雨量、土壌雨量指数を提供しています。

地区別危険度  
地区別XRAIN雨量  
総合監視  
市町村別危険度・雨量一覧表  
地区別危険度・雨量一覧表

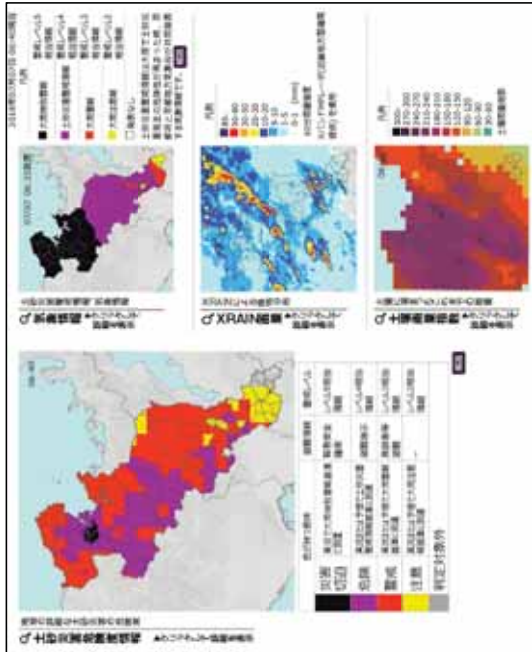
## (8) 各サイトで提供する情報

No.	項目	府民	行政	備考
1	土砂災害警戒情報	○	○	
2	土砂災害危険度情報(1km,地区別)	○	○	
3	雨量判定図	○	○	
4	XRAIN雨量(実況、60分積算、累積、地区別)	○	○	行政：3時間積算、24時間積算、72時間積算を含む
5	気象庁レーダー(実況、60分積算、予測)	○	○	
6	土壌雨量指数	○	○	
7	観測雨量	○	○	10分雨量、60分雨量、累積雨量 ※行政版のみ等雨量線表示機能あり
8	土砂災害警戒区域等	○	○	
9	表示履歴	○	○	府民：1日 行政：指定期間中大雨注意報発表期間は全て保存

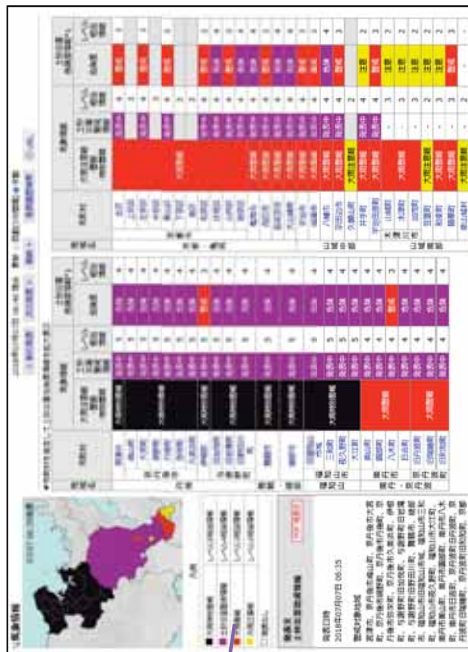
## 3. システム構成



(1) トップページ



(3) 気象情報

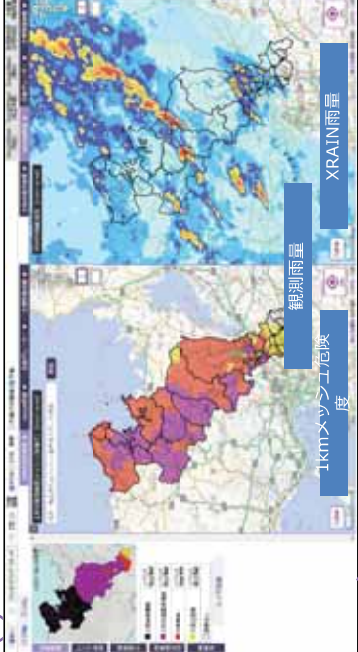


トップページ  
土砂災害危険度情報(1kmメッシュ)、土砂災害警戒情報などの気象情報、XRAIN雨量分布、土壌雨量指数を掲示(5分間隔で自動更新)

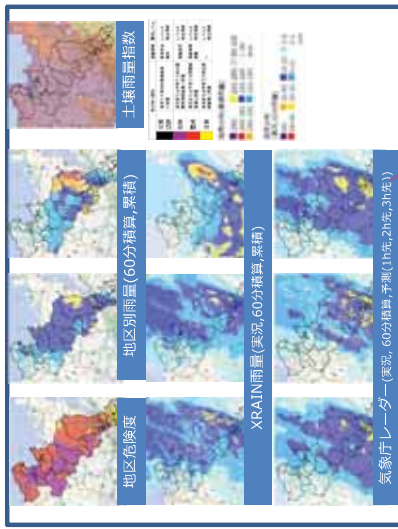
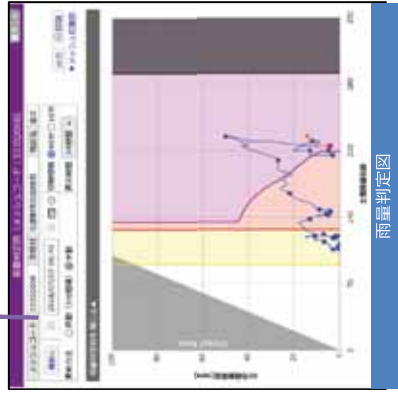
気象情報  
大雨注意報、大雨警報、土砂災害警戒情報、大雨特別警戒の発表状況を掲示

危険度メッシュをクリックした地点の雨量判定図を表示

(2) 土砂災害危険度情報



土砂災害危険度情報  
土砂災害危険度情報(1kmメッシュ)、XRAIN雨量(実況)を初期表示  
操作により、以下の情報を地図表示し監視可能  
・土砂災害危険度(1kmメッシュ、地区別)  
・XRAIN雨量(実況、60分積算、180分積算、24時間積算、72時間積算、累加、地区別60分積算、地区別累加)、気象庁レーダー雨量(60分積算、予測)、土壌雨量指数、観測雨量(10分雨量、60分雨量、累積雨量)  
・危険度メッシュ表示時は、クリック地点の雨量判定図を表示



土砂災害マップ



操作により、  
切替表示できる分布図  
土砂災害警戒区域等  
クリック地点の属性情報  
等を表示

(4)XRRAIN雨量

観測所名	観測日	観測時刻	雨量	備考
久米川	2021年10月11日	00:00	0.0	
久米川	2021年10月11日	06:00	0.0	
久米川	2021年10月11日	12:00	0.0	
久米川	2021年10月11日	18:00	0.0	
久米川	2021年10月11日	24:00	0.0	

XRRAIN雨量  
市町村別、地区別に、気象情報、危険度情報、60分間積算雨量、累積雨量、土壌雨量指数を表示

観測情報ダウンロード  
指定した期間の種類情報をCSV形式でダウンロードが可能

市町村	観測日	観測時刻	雨量	備考
京都市	2021年10月11日	00:00	0.0	
宇治市	2021年10月11日	00:00	0.0	
宇治市	2021年10月11日	06:00	0.0	
宇治市	2021年10月11日	12:00	0.0	
宇治市	2021年10月11日	18:00	0.0	
宇治市	2021年10月11日	24:00	0.0	

クリックした市町村の地区別雨量を表示

オープンデータ検索  
登録されているオープンデータの検索一括ダウンロードが可能

(6)観測情報ダウンロード

観測所名	観測日	観測時刻	雨量	備考
久米川	2021年10月11日	00:00	0.0	
久米川	2021年10月11日	06:00	0.0	
久米川	2021年10月11日	12:00	0.0	
久米川	2021年10月11日	18:00	0.0	
久米川	2021年10月11日	24:00	0.0	

(7)オープンデータダウンロード

2021年10月11日 00:00 (XRRAIN)

2021年10月11日 06:00 (XRRAIN)

2021年10月11日 12:00 (XRRAIN)

2021年10月11日 18:00 (XRRAIN)

2021年10月11日 24:00 (XRRAIN)

2021年10月12日 00:00 (XRRAIN)

2021年10月12日 06:00 (XRRAIN)

2021年10月12日 12:00 (XRRAIN)

2021年10月12日 18:00 (XRRAIN)

2021年10月12日 24:00 (XRRAIN)

オープンデータダウンロード  
登録されているオープンデータの個別ダウンロードが可能

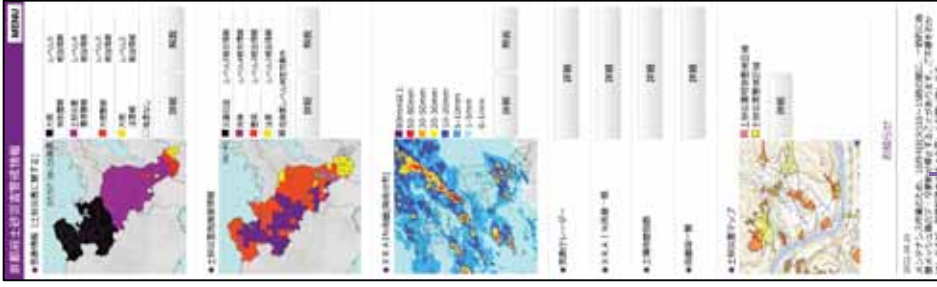
詳細な雨量高情報を表示

(5)雨量局一覧

局名をクリックで地図を表示

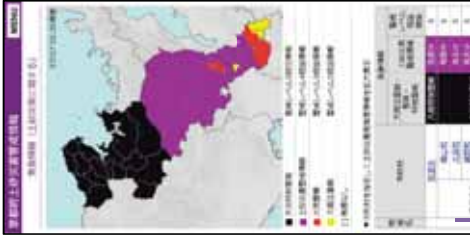
局名	観測日	観測時刻	雨量	備考
久米川	2021年10月11日	00:00	0.0	
久米川	2021年10月11日	06:00	0.0	
久米川	2021年10月11日	12:00	0.0	
久米川	2021年10月11日	18:00	0.0	
久米川	2021年10月11日	24:00	0.0	

(1)トップページ



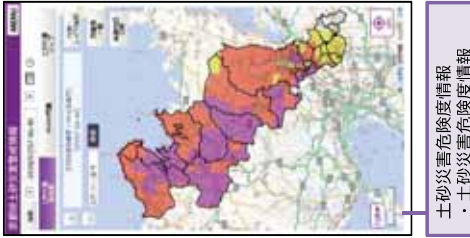
トップページ  
土砂災害危険度情報(1kmメッシュ)、土砂災害警戒情報などの気象情報、XRAIN雨量分布、土壌雨量指数、土砂災害マップへのリンクを掲示  
お知らせ、解説へのリンク等を掲示

(2)土砂災害に関する気象情報ページ



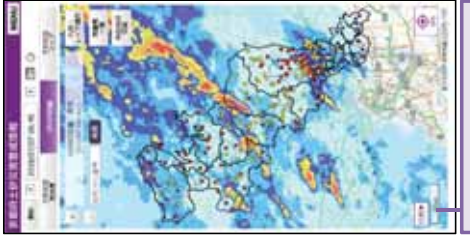
土砂災害に関する気象情報  
大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報、大雨注意報を発表対象の旧市区町村ごとに掲示合わせて発表文を表示

(3)土砂災害危険度情報ページ



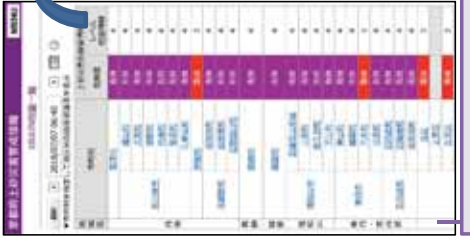
土砂災害危険度情報  
・土砂災害危険度(1kmメッシュ)を初期表示  
・操作により、以下の情報を地図表示し監視可能  
土砂災害危険度(1kmメッシュ)、危険度メッシュ表示時は、選択地点の雨量判定図を表示

(4)XRAIN雨量ページ



XRAIN雨量  
・XRAIN雨量(実況)を初期表示  
・操作により、以下の情報を地図表示し監視可能  
XRAIN雨量(実況、60分雨量、累積雨量、地区別60分雨量、地区別累積雨量)

(5)XRAIN一覧ページ



XRAIN一覧表  
・市町村ごとの土砂災害危険度情報のレベル超過を掲示  
・地区別に、土砂災害危険度情報のレベル超過、XRAIN60分雨量、XRAIN累積雨量を表示  
・地区リンクをクリックして、土砂災害危険度(地区)へ画面遷移

(6)土砂災害警戒区域マップ

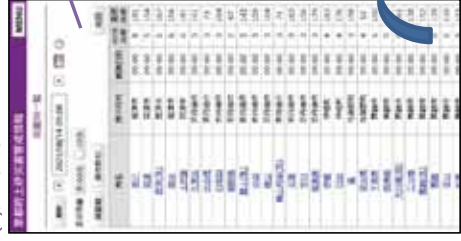


土砂災害マップ  
土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域を地図表示  
選択地点の土砂災害警戒区域等の情報を下部に表

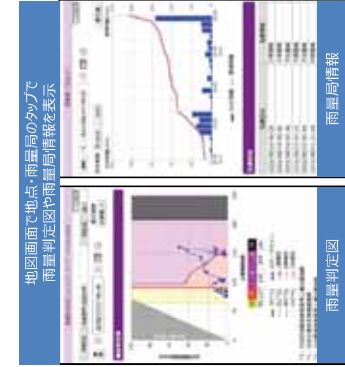
(7)雨量局一覧



(7)雨量局一覧



雨量局一覧  
雨量局の降雨状況を表示  
局名タップで地図を表示



地図画面で地点、雨量局のグラフで雨量判定図や雨量局情報を表示

雨量局情報

土壌雨量指数  
土壌雨量指数(実況)を初期表示



(1) トップページ

**京都府土砂災害警戒情報**

1 土砂災害警戒情報に関するお知らせ  
2 XRAIN一覽表  
3 XRAINレーダー (全府)

4 XRAIN一覽表 (詳細)  
5 XRAINレーダー (全府)

6 土砂災害危険超過情報 (全府)

7 土砂災害危険超過情報 (全府)

8 土砂災害警戒情報 (全府)

9 土砂災害危険超過情報 (全府)

10 土砂災害警戒情報 (全府)

11 土砂災害警戒情報 (全府)

12 土砂災害警戒情報 (全府)

13 土砂災害警戒情報 (全府)

14 土砂災害警戒情報 (全府)

15 土砂災害警戒情報 (全府)

16 土砂災害警戒情報 (全府)

17 土砂災害警戒情報 (全府)

18 土砂災害警戒情報 (全府)

19 土砂災害警戒情報 (全府)

20 土砂災害警戒情報 (全府)

大雨特別警報、土砂災害警戒情報が発せられた場合の例

2022.07.05  
7月5日～5日のあいだに発生した豪雨により、京都府内において、本日現在完了しました。後日引き続き、ご不便をお知らせいたします。

2022.07.05  
7月2日18時35分頃に発生した「お」降雷電気がつながらなくなりました。後日引き続き、ご不便をお知らせいたします。

2022.07.03  
7月2日18時35分頃に発生した「お」降雷電気がつながらなくなりました。一部地域に欠陥が発生しております。KDDIでは現在従来通り提供中であり、通信障害の回復により問題が解消する見込みです。ご不便をお知らせいたします。

トップページ  
土砂災害警戒情報などの気象情報、土砂災害危険超過情報レベル超過、XRAIN雨量分布、土壌雨量指数、お知らせ、解説へのリンク等を掲載

土砂災害に関する気象情報  
大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報、大雨注意報を発生対象の旧市区町村ごとに揭示

(2) 土砂災害に関する気象情報ページ

土砂災害に関する気象情報 (全府)

大雨特別警報 (発表レベル5相当情報)  
土砂災害警戒情報 (発表レベル4相当情報)  
大雨警報  
大雨注意報  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁

大雨特別警報、土砂災害警戒情報が発せられた場合の例

2022.07.05  
7月5日～5日のあいだに発生した豪雨により、京都府内において、本日現在完了しました。後日引き続き、ご不便をお知らせいたします。

2022.07.05  
7月2日18時35分頃に発生した「お」降雷電気がつながらなくなりました。後日引き続き、ご不便をお知らせいたします。

2022.07.03  
7月2日18時35分頃に発生した「お」降雷電気がつながらなくなりました。一部地域に欠陥が発生しております。KDDIでは現在従来通り提供中であり、通信障害の回復により問題が解消する見込みです。ご不便をお知らせいたします。

土砂災害危険超過情報  
土砂災害危険超過(全体)を揭示  
表示対象地域を選択すると、地域ごとに土砂災害危険超過を揭示

(3) 土砂災害危険超過情報ページ

土砂災害危険超過情報 (全府)

発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁

土砂災害危険超過情報 (全府)

発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁

土砂災害危険超過情報  
土砂災害危険超過(全体)を揭示  
表示対象地域を選択すると、地域ごとに土砂災害危険超過を揭示

(4) XRAINレーダーページ

XRAINレーダー (全府)

発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁

XRAINレーダー (全府)  
XRAINレーダー(全体)を揭示  
表示対象地域を選択すると、地域ごとにXRAINレーダーを揭示

土壌雨量指数ページ

発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁

土壌雨量指数  
土壌雨量指数(全体)を揭示  
表示対象地域を選択すると、地域ごとに土壌雨量指数を揭示

(5) XRAIN一覽表ページ

XRAIN一覽表 (全府)

発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁

XRAIN一覽表 (全府)

発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁  
発表 気象庁

XRAIN一覽表  
XRAIN雨量(60分雨量 | 累積雨量)、土砂災害危険超過情報のレベル超過を揭示  
表示対象地域を選択すると、地域ごとにXRAIN雨量、土砂災害危険超過情報レベル超過を揭示  
市区町村を選択すると、地区ごとにXRAIN雨量、土砂災害危険超過を揭示

土壌雨量指数  
土壌雨量指数(全体)を揭示  
表示対象地域を選択すると、地域ごとに土壌雨量指数を揭示

## 各種防災情報の活用について

昨今では、国土交通省の「川の防災情報」、京都府の「河川防災情報」、など、浸水害及び土砂災害の危険度監視システムに加えて、気象庁「キキクル」、「洪水予報」、「水害リスクライン」、府が構築中の「水位・氾濫予測システム」等の予測情報も充実されつつあります。

防災情報が多様化・複雑化する中で、それらをどう整理、活用していくかについて、各機関で意見交換して頂きます。

【発言予定機関】 各市町村

【発言時間】 1、2分程度

1

## 広域災害における情報共有とタイミング

国直轄及び府管理河川の氾濫は市町をまたぐ広域氾濫となりますが、各市町において、どのタイミングでどういった情報があれば避難指示発令の判断がスムーズに行えるか、各機関で意見交換していただきます。

【発言予定機関】 各市町村

【発言時間】 1、2分程度